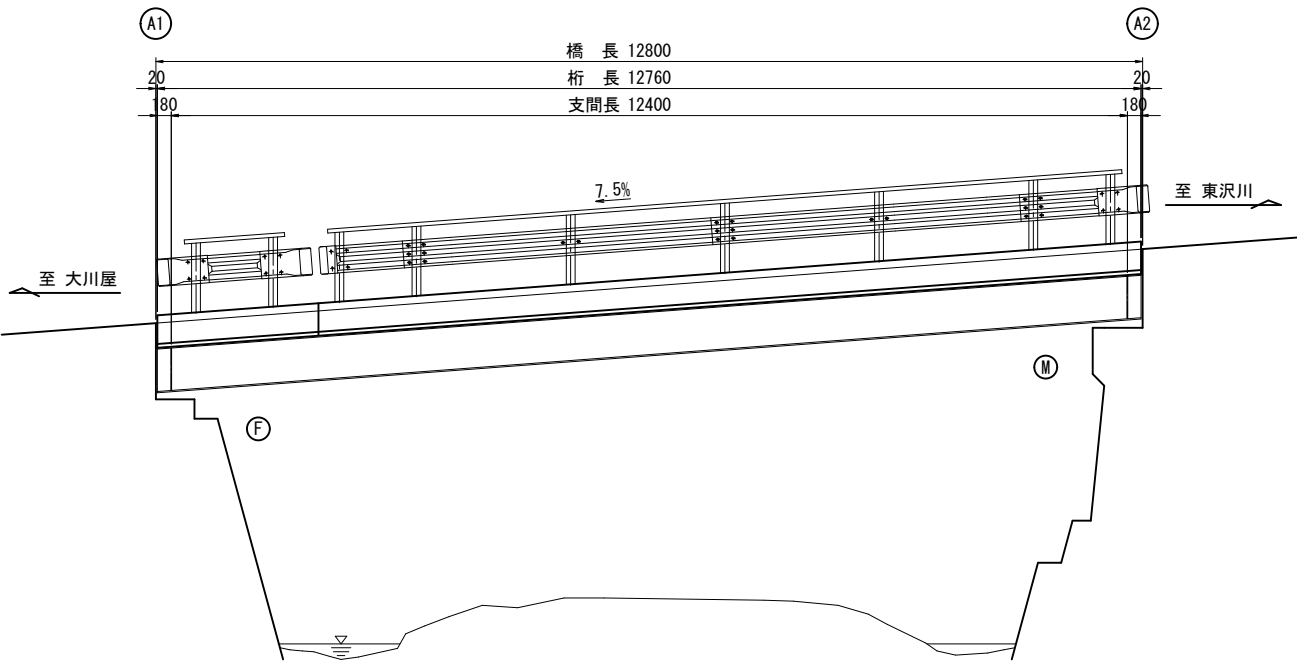
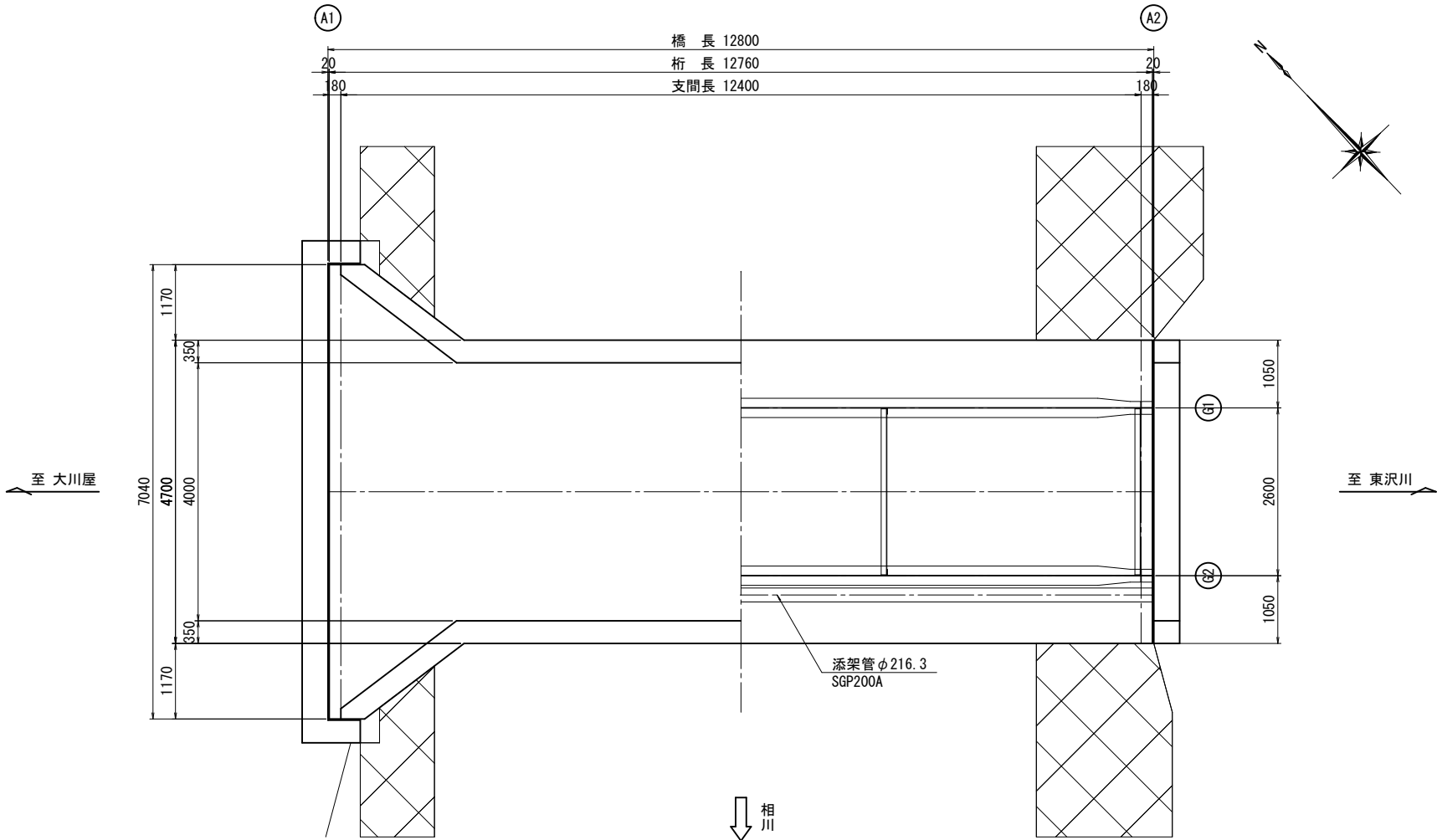


鍛冶屋橋 現況一般図

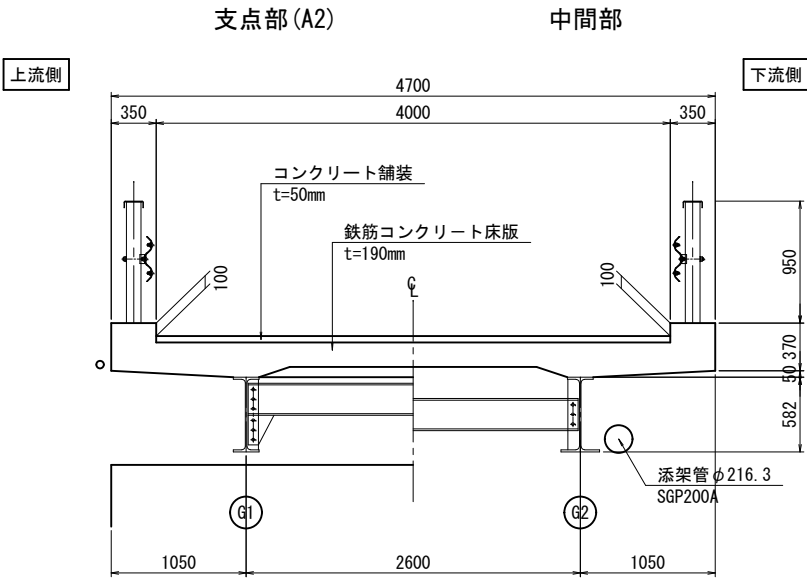
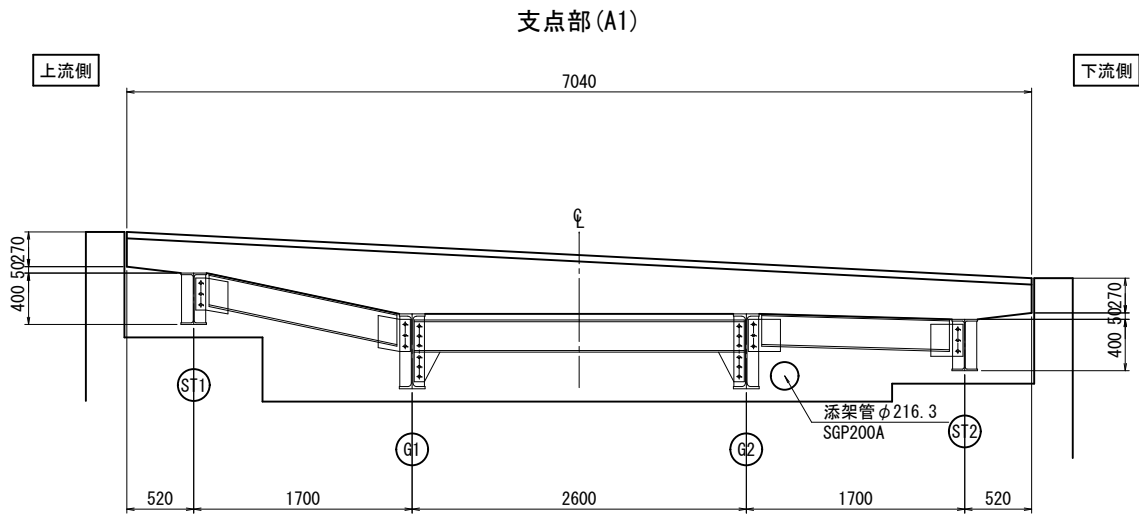
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:30



橋梁諸元

竣 工 年 月	1968年(昭和43年)		
橋 格	不明		
型 式	上部工	鋼単純H桁橋	
	下部工	不明	
	基礎工	不明	
橋 長	L=12.800m		
桁 長	L=12.760m		
幅 員	有効幅員	W=4.000m	
	全 幅 員	W=4.700m	
斜 角	90° 00' 00"		
交 差 条 件	1級河川 相川		
舗 装	コンクリート舗装 t=50mm(推定)		
適用示方書	不明		

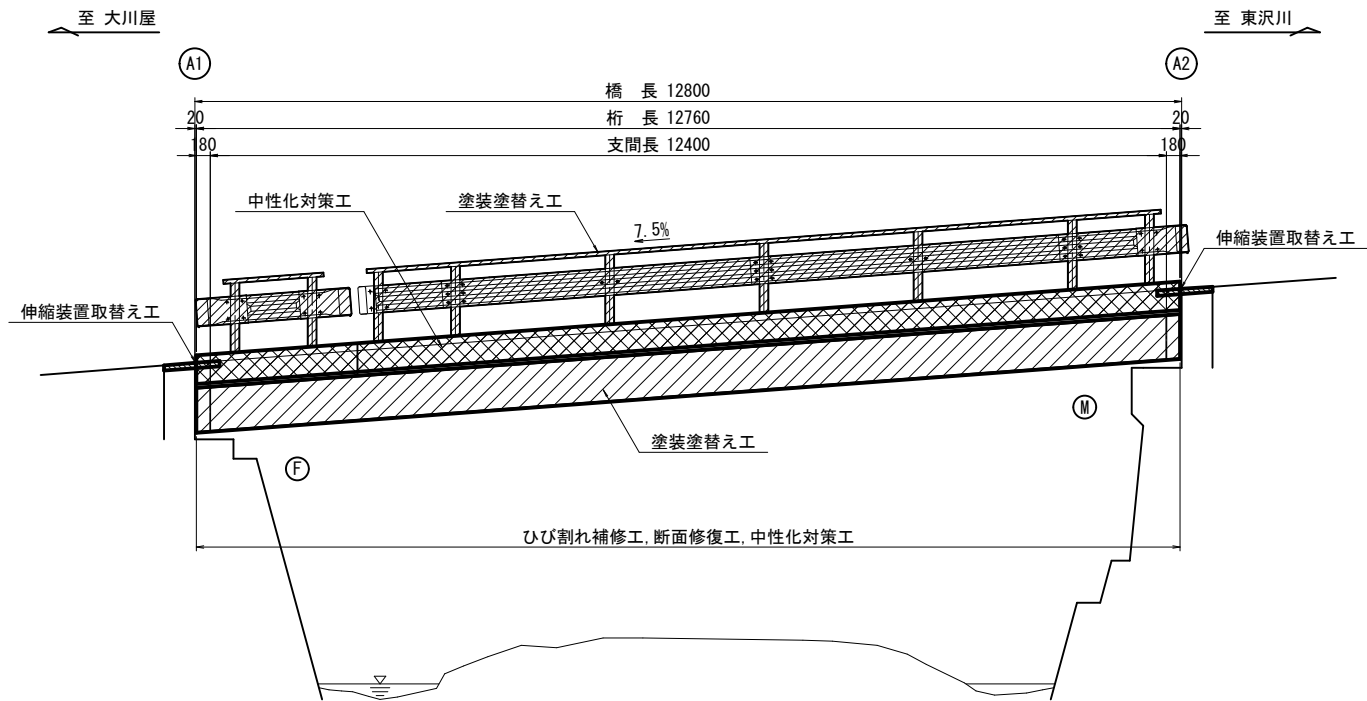
<注記>

1. 本図は既往の図書及び実測により作成した一般図である。

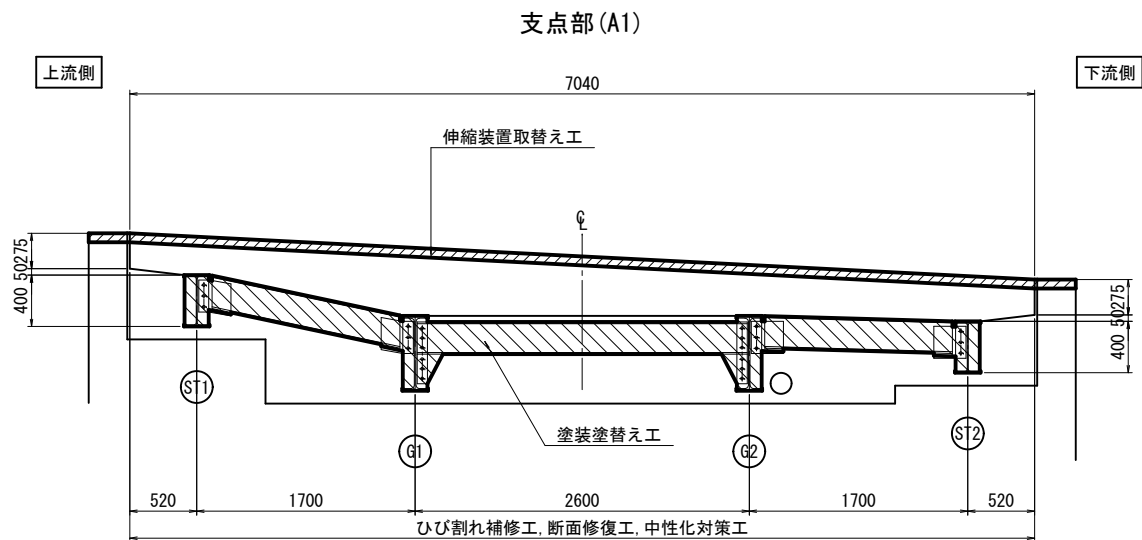
工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ６－４）		
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内		
路 線 名	市道 森中瀬線		
図 面 名	鍛冶屋橋 現況一般図		
縮 尺	図示	図面番号	1/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

鍛冶屋橋 補修一般図

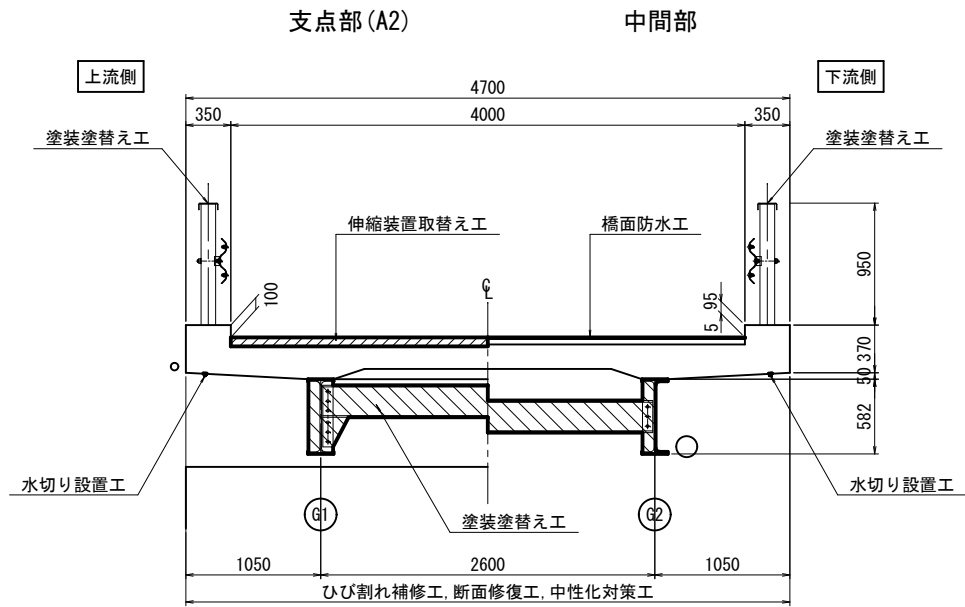
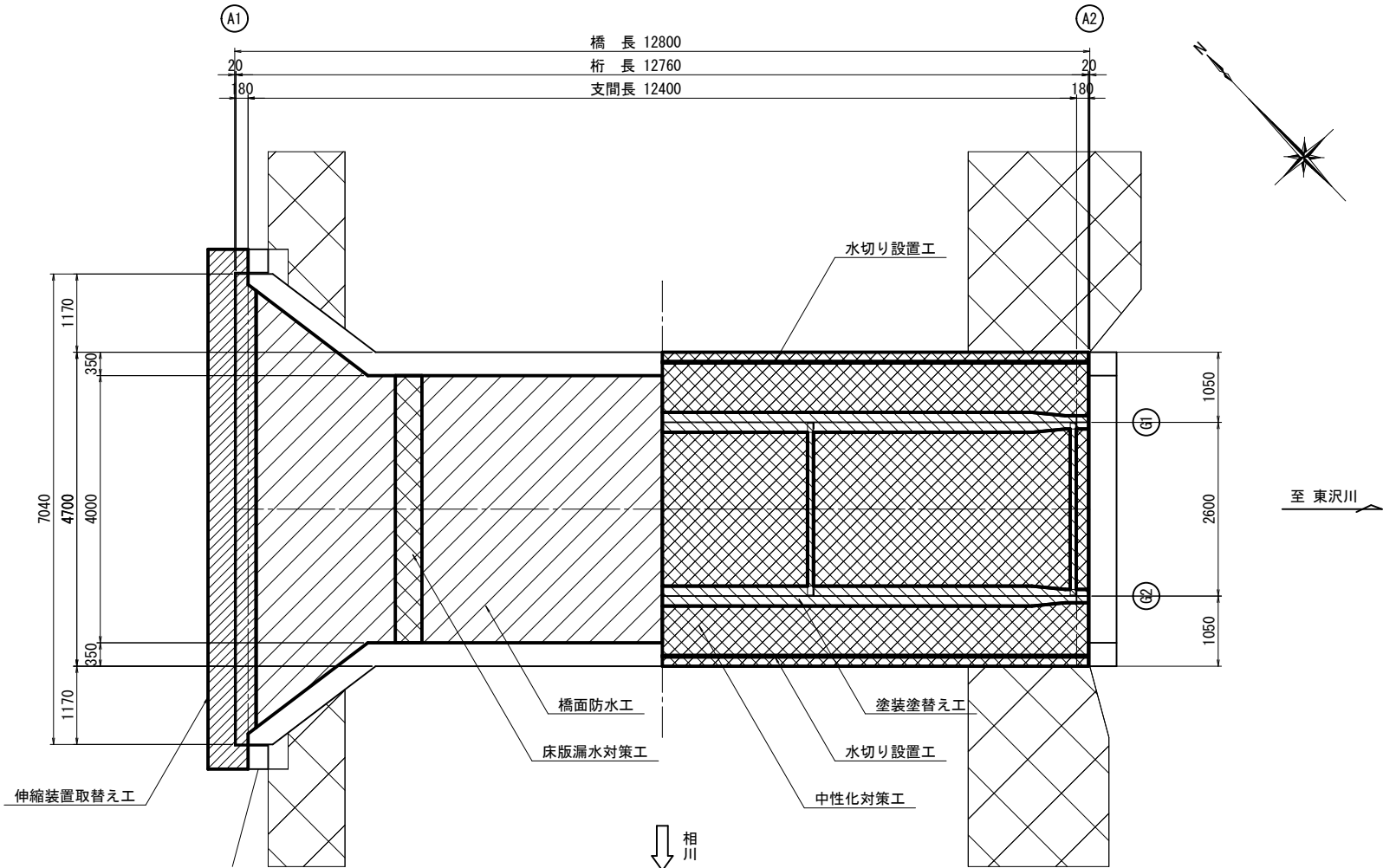
側面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:30



平面図 S=1:50



補修項目一覧表

	補修内容	施工箇所
補修	塗装塗替え工	上部工鋼桁部, 支承, 排水管, 防護柵
	橋面防水工	橋面全面
	床版漏水対策工	床版 (打継ぎ目)
	ひび割れ補修工	地覆, 床版
	断面修復工	地覆, 床版
	伸縮装置取替え工	A1, A2橋台
	中性化対策工	地覆, 床版
	水切り設置工	床版下面 (上下流側)

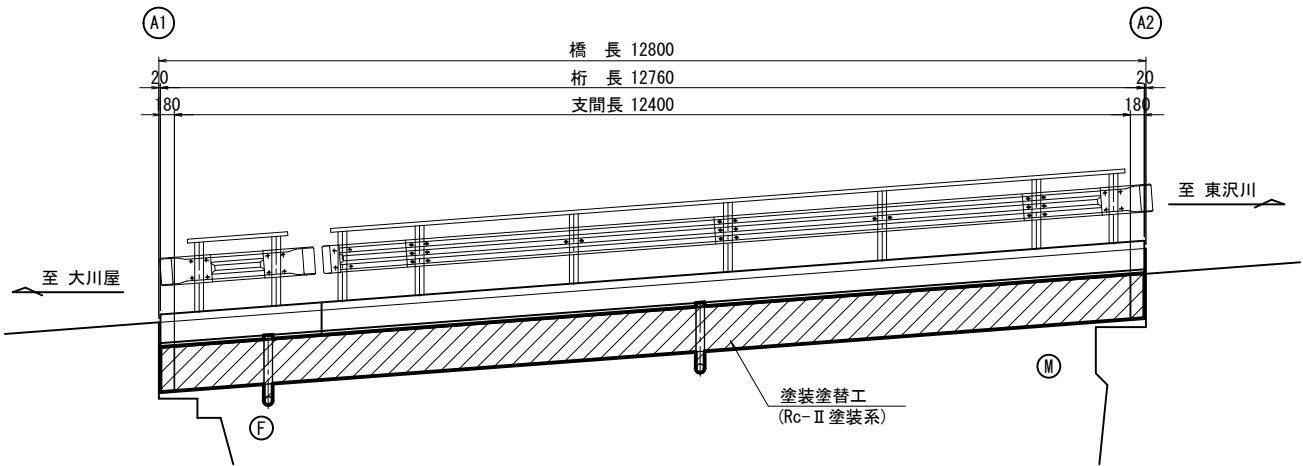
〈注記〉

1. 現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

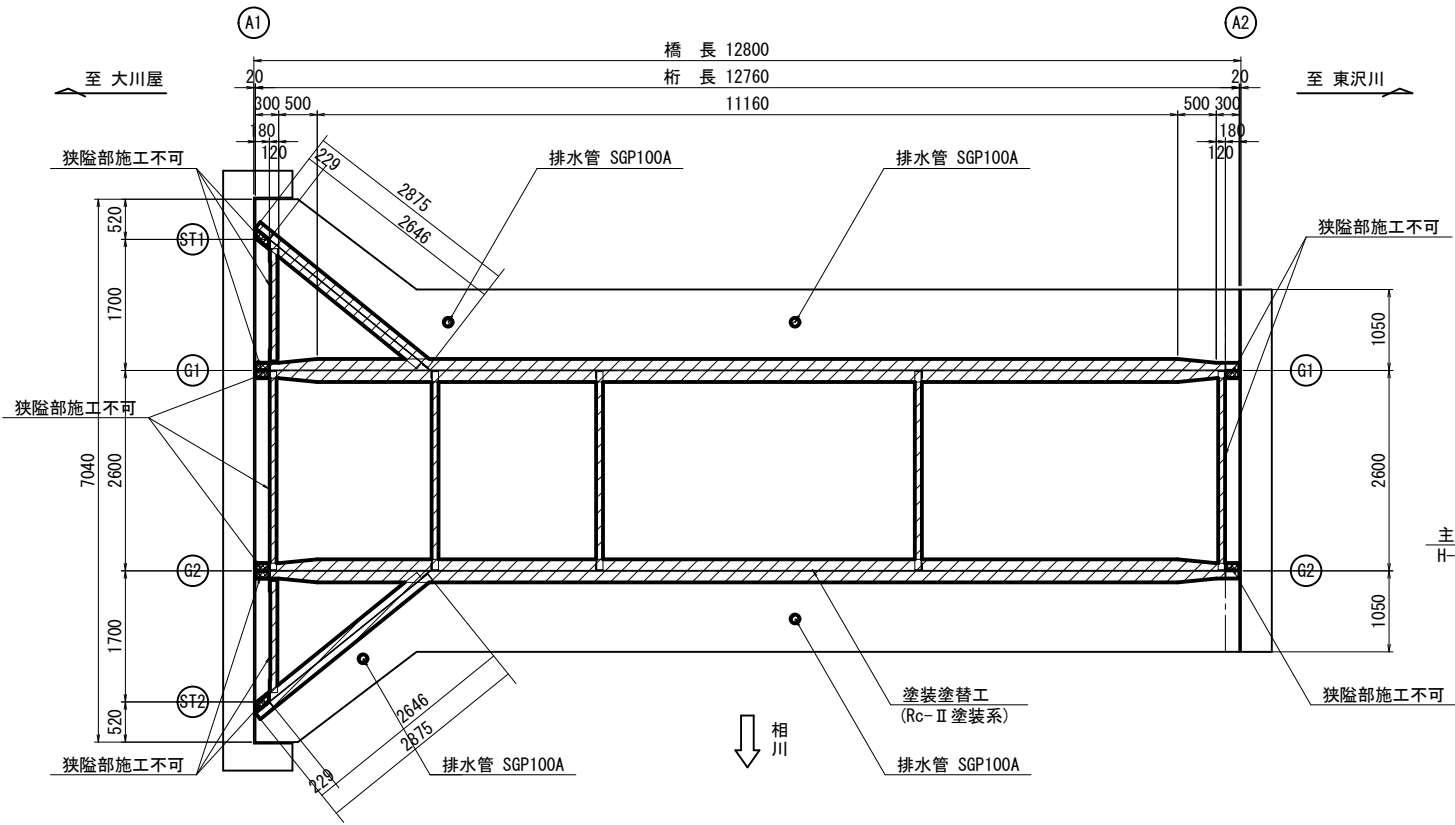
工 事 名	橋梁補修工事（R6－4）		
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内		
路 線 名	市道 森中瀬線		
図 面 名	鍛冶屋橋 補修一般図		
縮 尺	図示	図面番号	2/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

鍛冶屋橋 塗装塗替え工(その1)

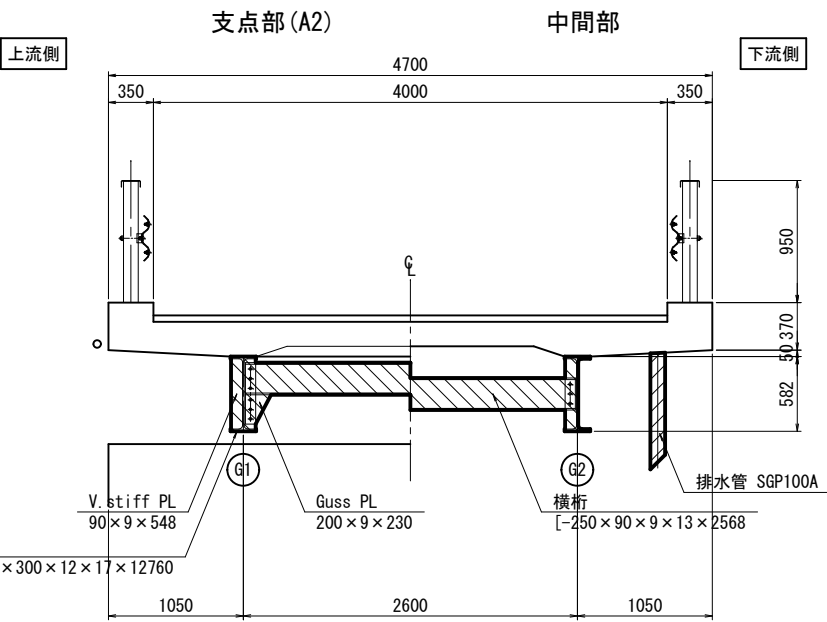
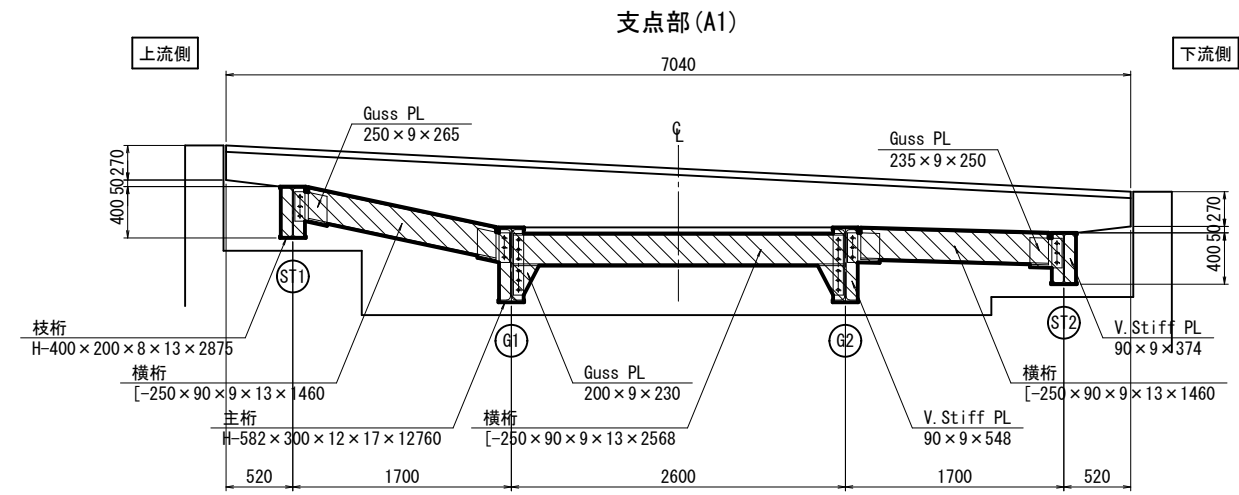
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:30

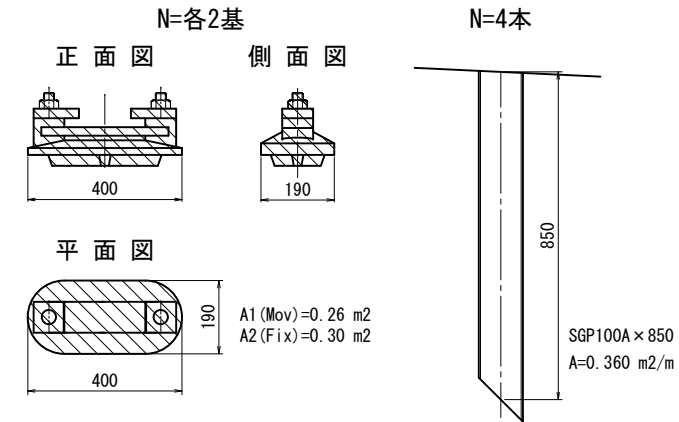


塗装仕様 剥離剤+Rc-Ⅱ塗装系(はけ, ローラー)

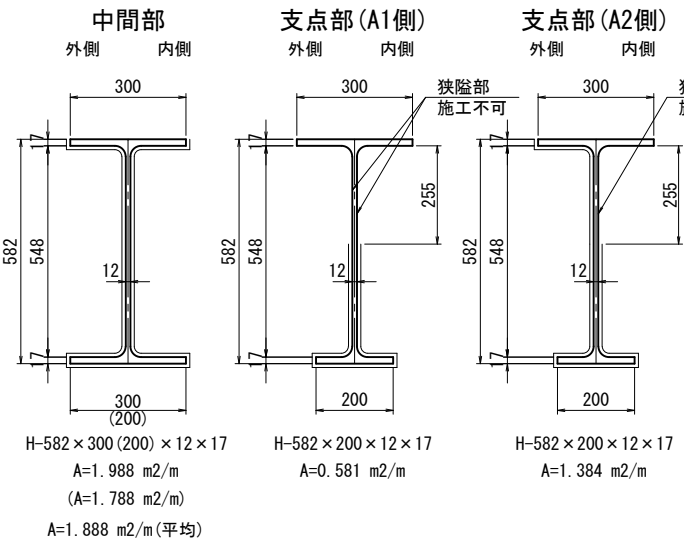
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	剥離剤+2種ケレン	750	4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※1	(240)	1日~10日 ※2
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	150	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	150	1日~10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日~10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日~10日

※1 素地調整程度2種であるが、健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、他の旧塗膜は全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は240g/m<sup>2</sup>程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m<sup>2</sup>とする。  
※2 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

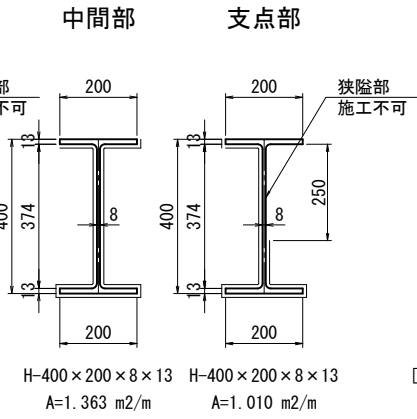
支承形状図 S=1:10 排水管断面 S=1:10



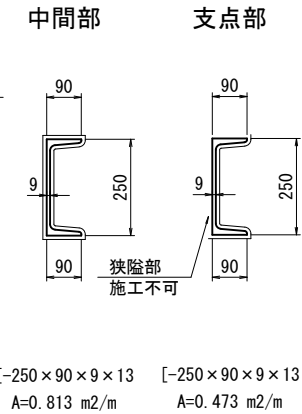
主桁断面図 S=1:10



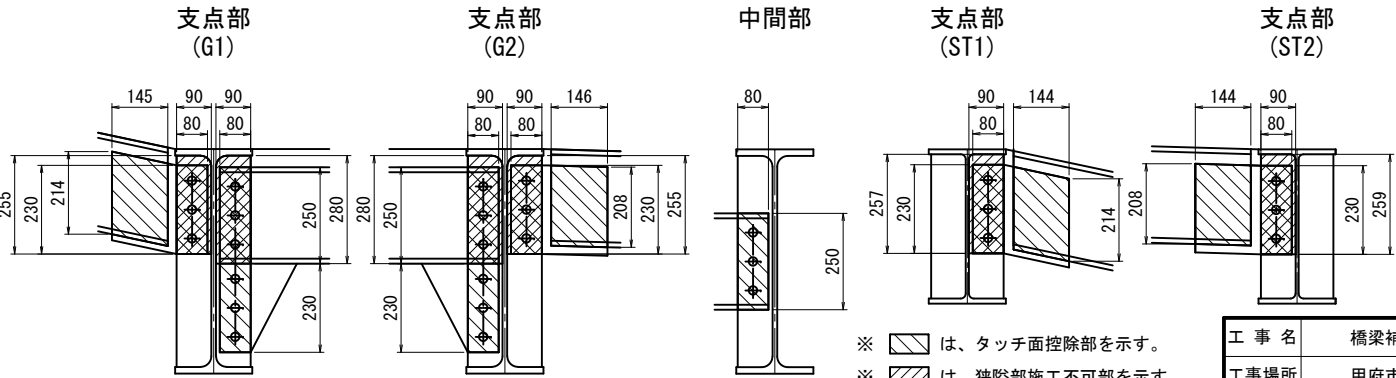
枝桁断面図 S=1:10



横桁断面図 S=1:10



補剛材断面図 S=1:10



塗装塗替え工 数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	摘 要
塗装塗替え工	剥離剤+Rc-Ⅱ塗装系	m <sup>2</sup>	111	1式当り

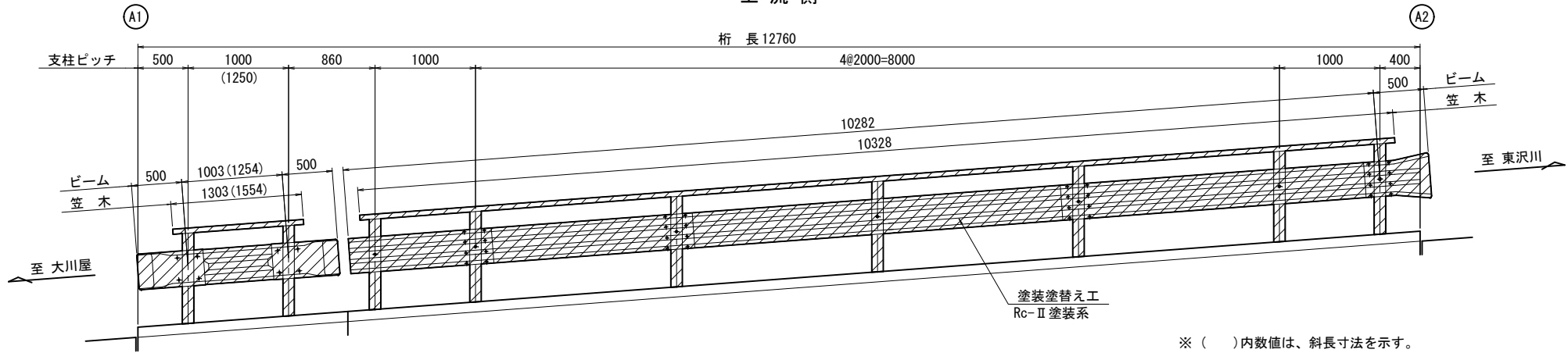
<注記>

- 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。
- 塗替え塗装系はRc-Ⅱとする。
- 塗装範囲の角部は、塗料の付着に配慮し半径2mm以上の面取りを行うこと。
- 既設塗膜は、特定有害物(鉛、PCB等)を含有しているため、必要な防護措置を行うこと。

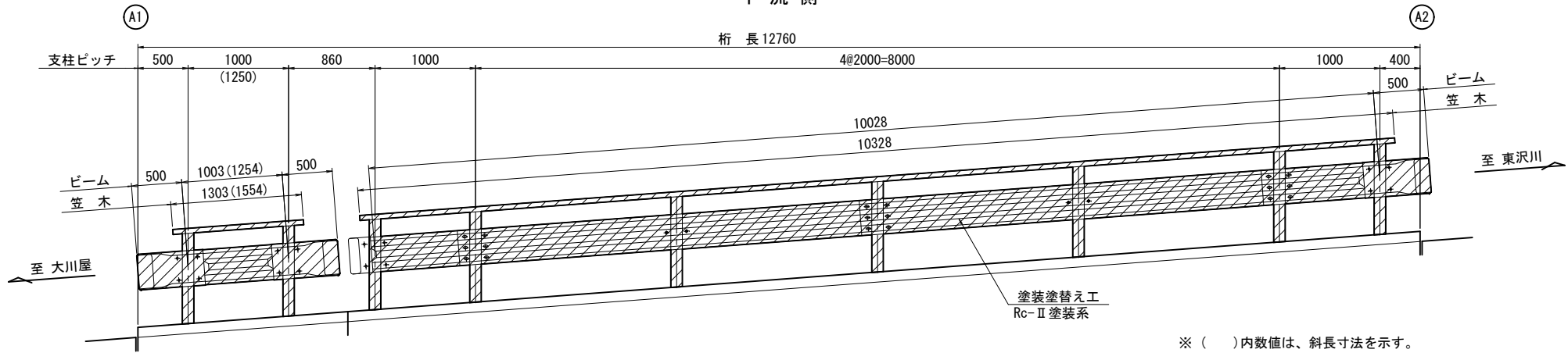
工 事 名	橋梁補修工事 (R6-4)
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内
路 線 名	市道 森中瀬線
図 面 名	鍛冶屋橋 塗装塗替え工(その1)
縮 尺	図示 図面番号 3/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社
甲 府 市	

鍛冶屋橋 塗装塗替え工(その2)

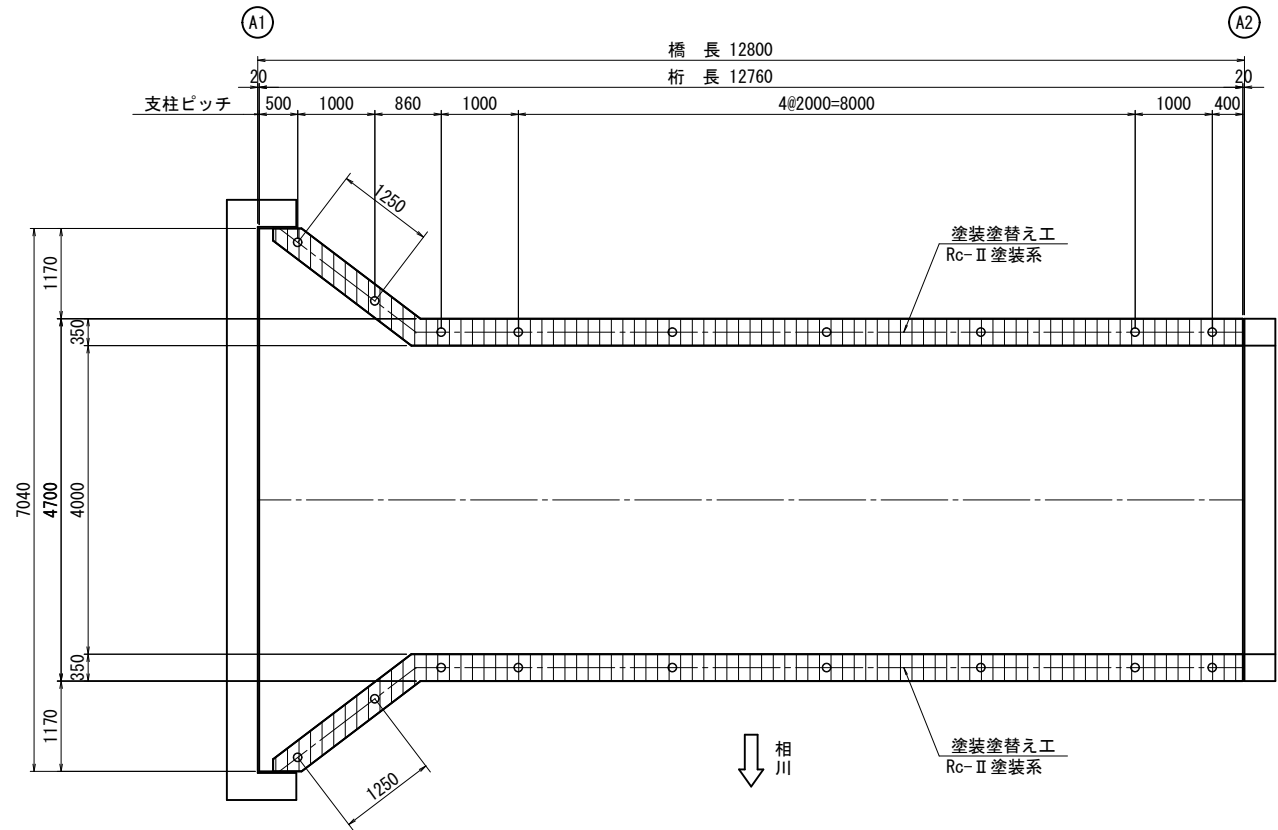
側面図 S=1:30  
上流側



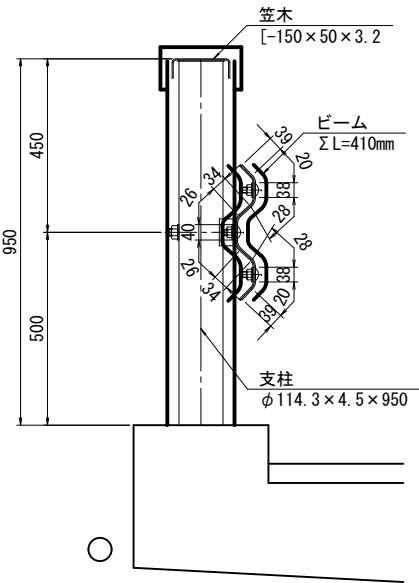
下流側



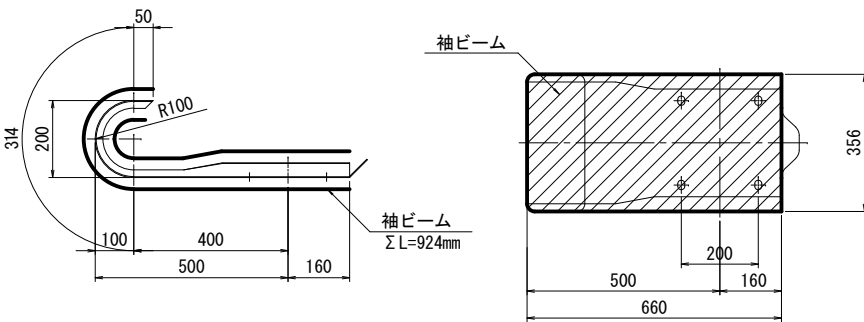
施工位置図 S=1:50



断面図 S=1:10



袖ビーム S=1:10



塗装仕様 剥離剤+Rc-II 塗装系(はけ, ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	剥離剤+2種ケレン	750	4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※1	(240)	1日~10日※2
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	150	1日~10日
中 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	140	1日~10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日~10日

※1 素地調整程度2種であるが、健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、他の旧塗膜は全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は240g/m<sup>2</sup>程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面撤去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m<sup>2</sup>とする。  
※2 現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

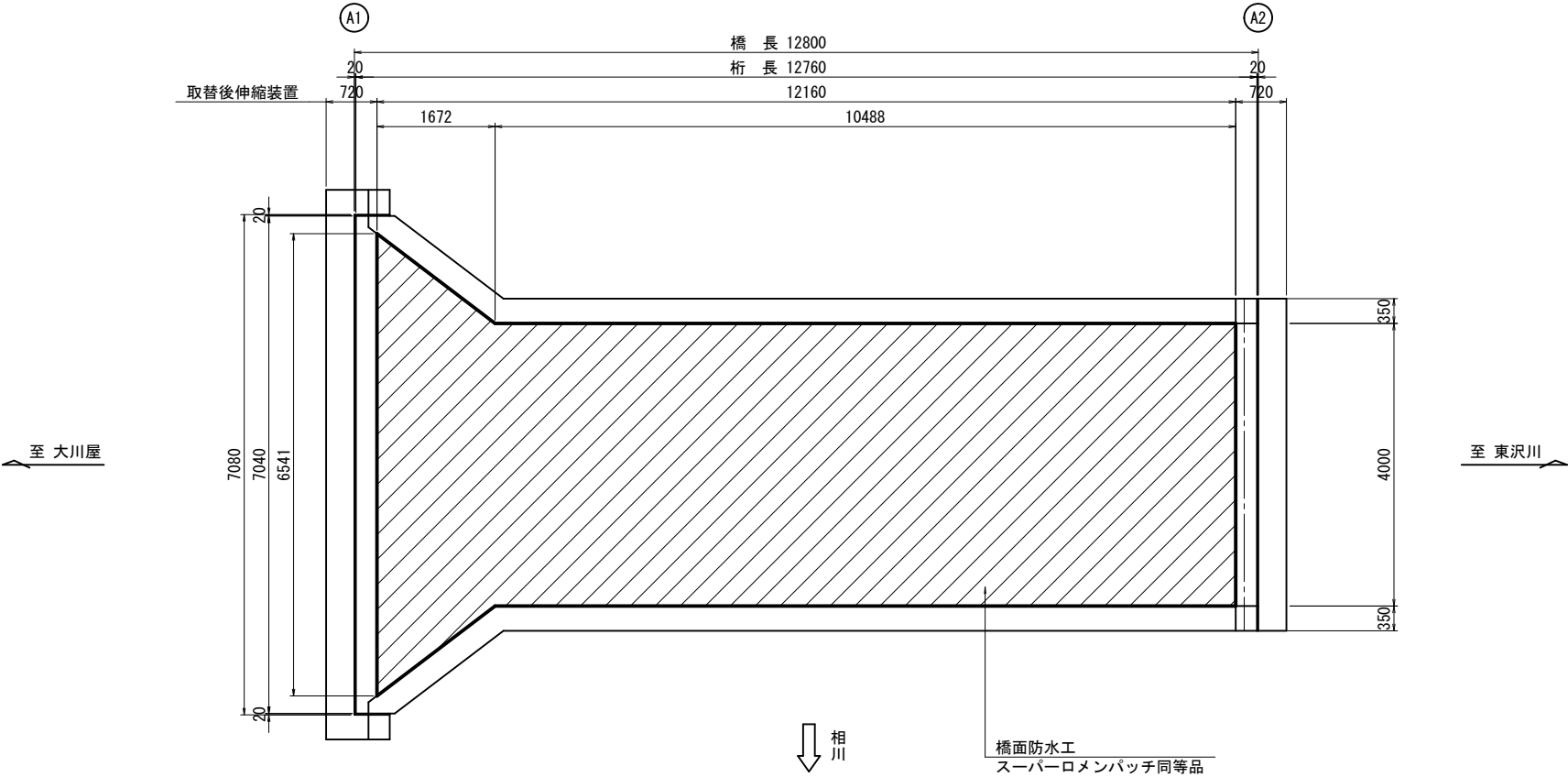
＜注記＞

1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。
2. 塗替え塗装系はRc-IIとする。
3. 塗装範囲の角部は、塗料の付着に配慮し半径2mm以上の面取りを行うこと。
4. 既設塗膜は、特定有害物(鉛、PCB等)を含有しているため、必要な防護措置を行うこと。

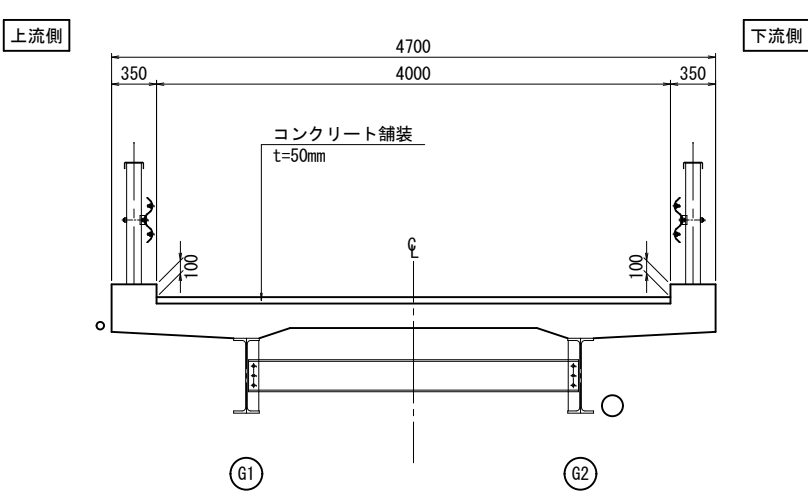
工 事 名	橋梁補修工事 (R6-4)
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内
路 線 名	市道 森中瀬線
図 面 名	鍛冶屋橋 塗装塗替え工(その2)
縮 尺	図示 図面番号 4/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社
甲 府 市	

鍛冶屋橋 橋面防水工

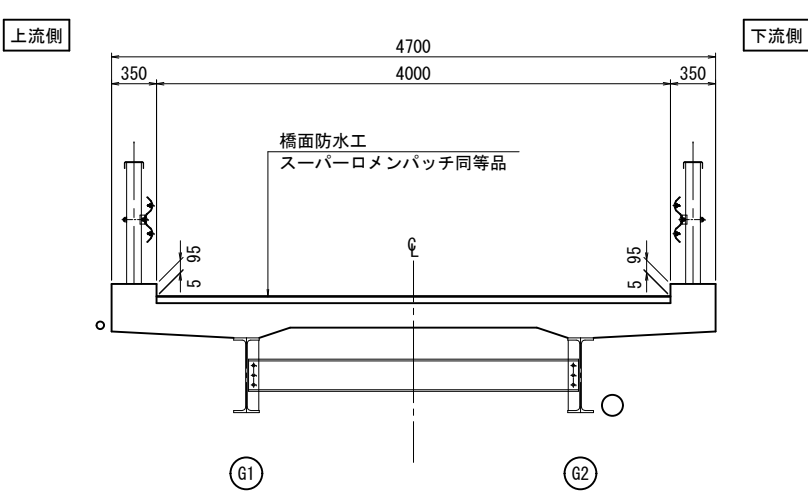
平面図 S=1:50



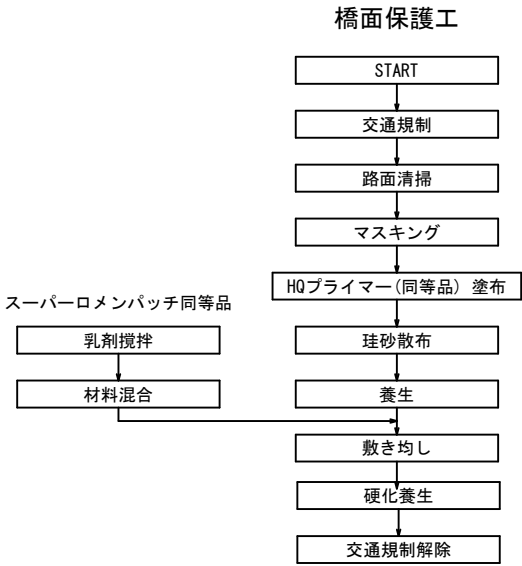
既設断面図 S=1:30



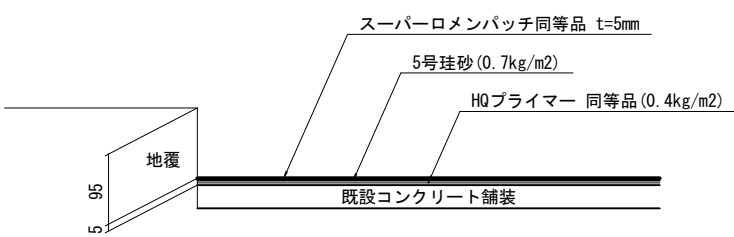
補修断面図 S=1:30



<施工フロー>



橋面防水工詳細図 S=1:5



橋面防水工 数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	摘 要
橋面防水工	スーパーロメンパッチ同等品	m2	50.8	

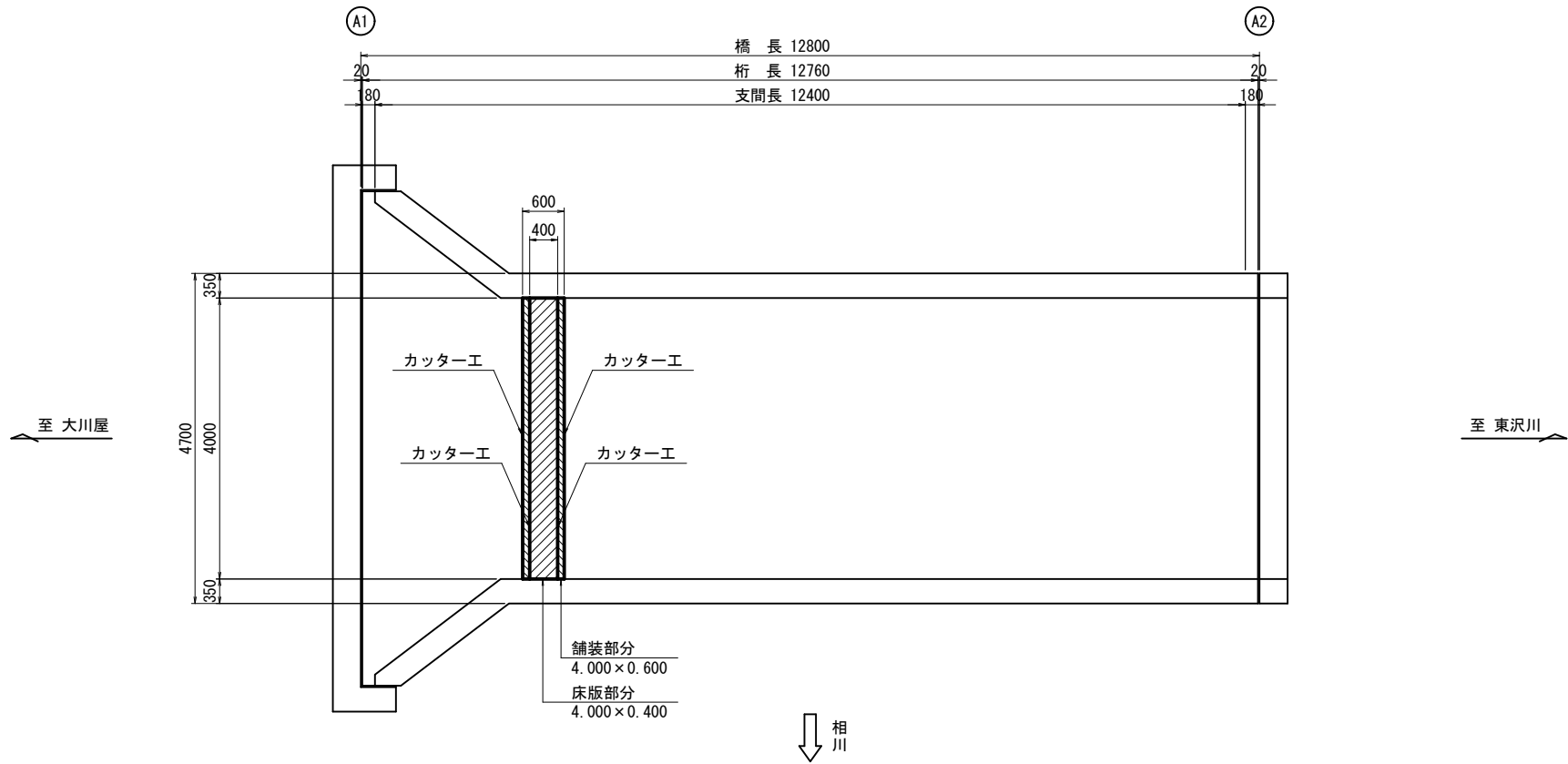
1式当り

<注記>  
1. 現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

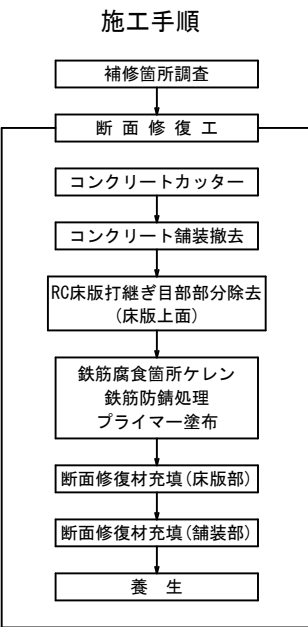
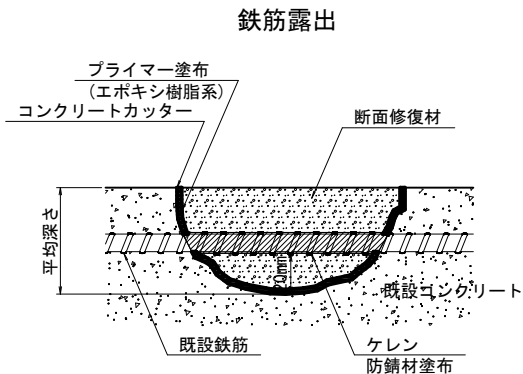
工 事 名	橋梁補修工事 (R6-4)		
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内		
路 線 名	市道 森中瀬線		
図 面 名	鍛冶屋橋 橋面防水工		
縮 尺	図示	図面番号	5/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

鍛冶屋橋 床版漏水対策工

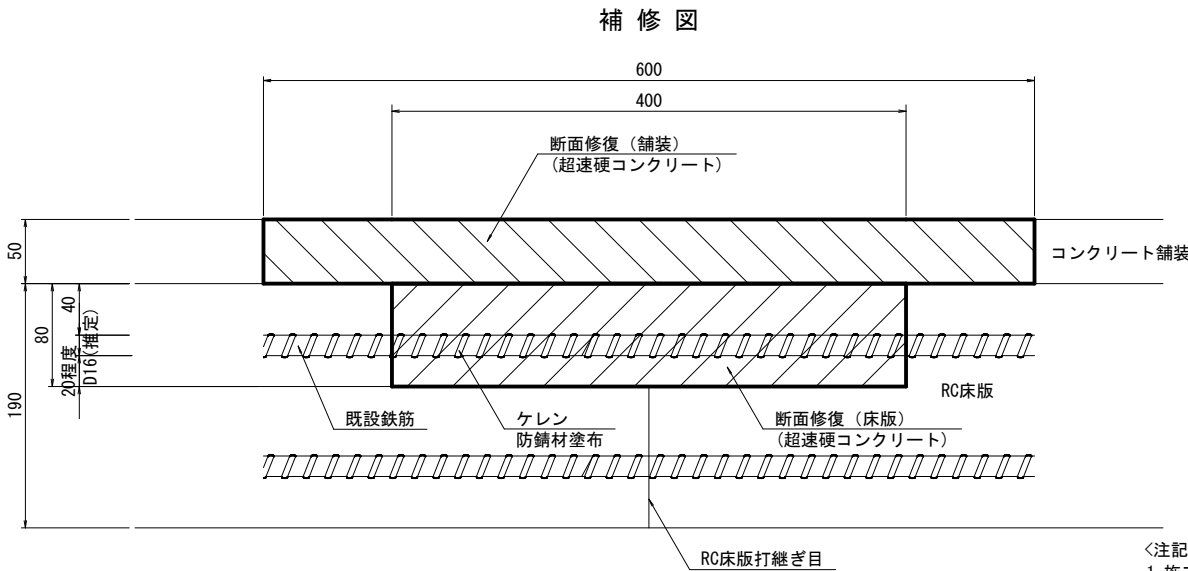
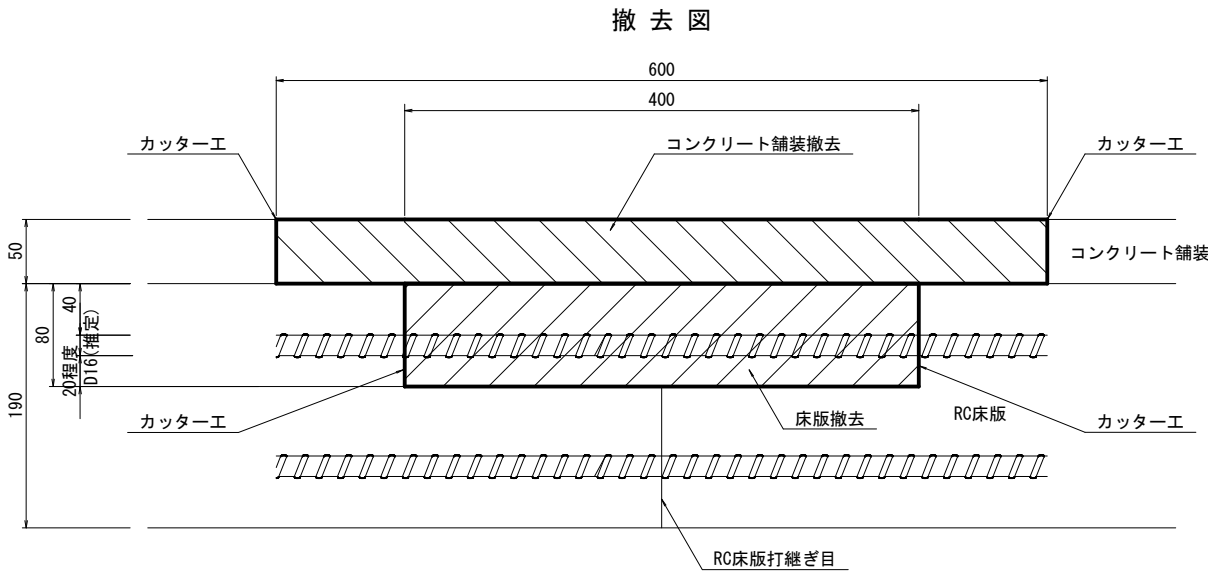
平面図 S=1:50



断面修復詳細図(参考)  
(鉄筋ケレン・防錆処理を含む場合)



床版漏水対策詳細図 S=1:3



- <注記>
- 施工時は、現地寸法を確認のこと。
  - 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
  - 脆弱部は、はつり落とすこと。
  - カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
  - 床版止水対策の範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。

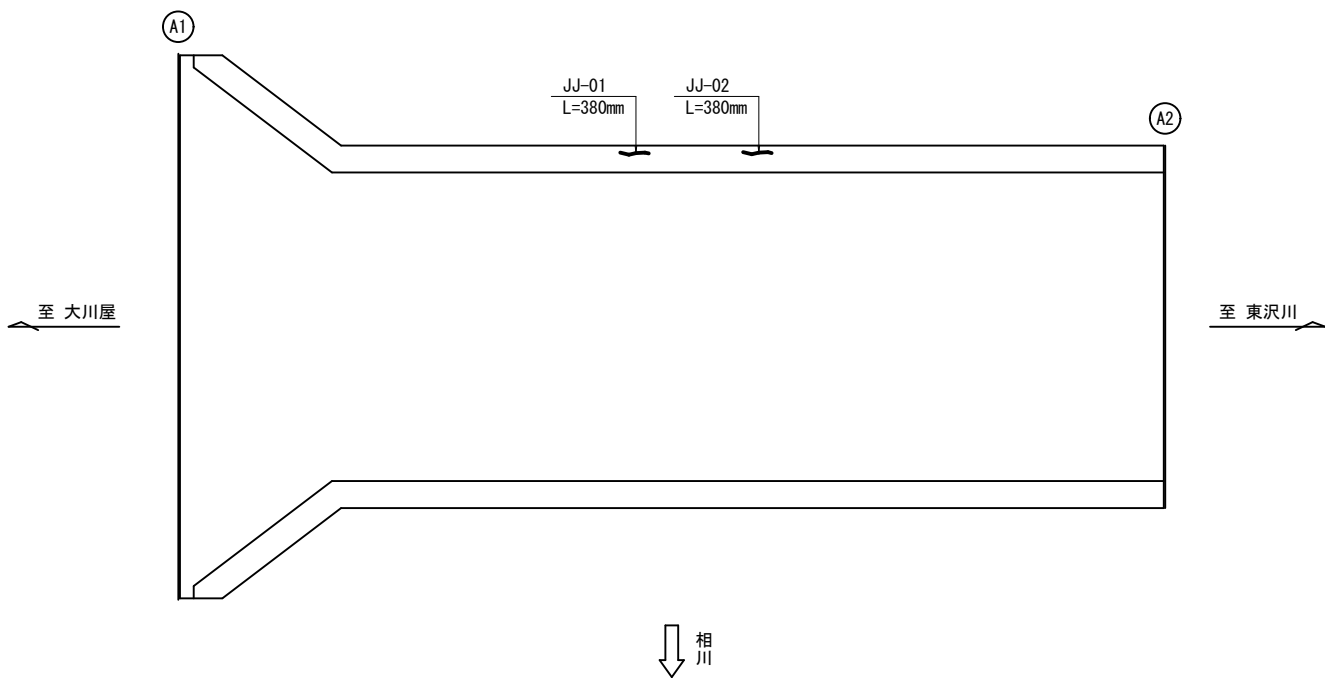
断面修復（鉄筋ケレン・防錆処理含む）数量表			1橋当り
損傷箇所	W×L	A (m <sup>2</sup> )	
舗装 (t=50mm)	4.000×0.600	2.4000	
床版 (t=80mm)	4.000×0.400	1.6000	

コンクリートガラ 数量表			1橋当り
損傷箇所	W×L×平均深さ (m)	V (m <sup>3</sup> )	
舗装	4.000×0.600×0.050	0.1200	
床版	4.000×0.400×0.080	0.1280	
施工量合計		0.2480	

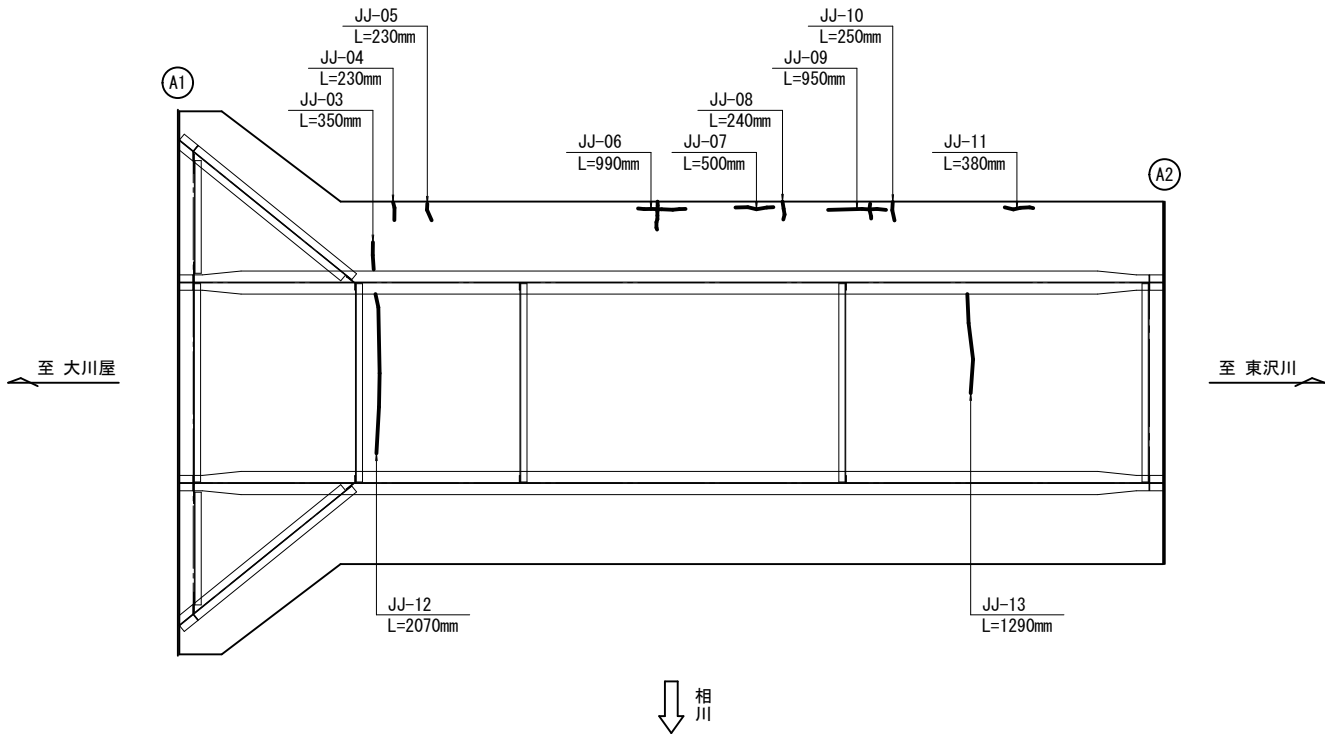
工 事 名	橋梁補修工事（R6－4）		
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内		
路 線 名	市道 森中瀬線		
図 面 名	鍛冶屋橋 床版漏水対策工		
縮 尺	図示	図面番号	6/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

鍛冶屋橋 ひび割れ補修工

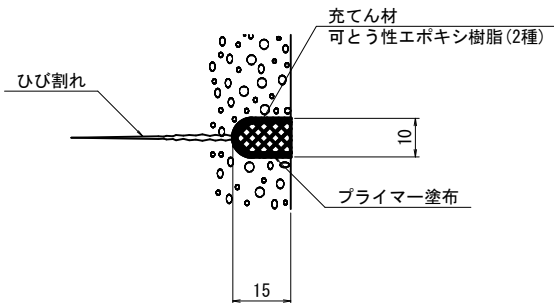
平面図 S=1:50  
(橋面)



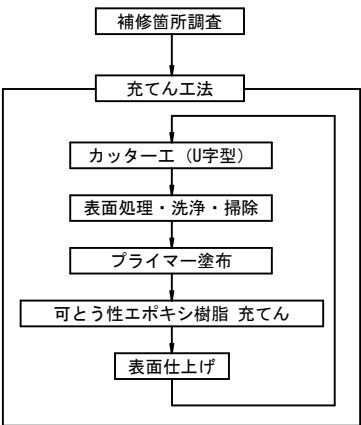
平面図 S=1:50  
(桁下)



充てん工法 詳細図



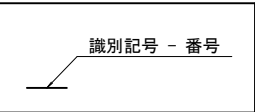
施工手順



ひび割れ補修工 数量表(充てん工法)				1橋当り
損傷箇所	No.	延長 (mm)	可とう性エポキシ樹脂 (m3)	
上部工	JJ-01	380	0.00006	
	JJ-02	380	0.00006	
	JJ-03	350	0.00005	
	JJ-04	230	0.00003	
	JJ-05	230	0.00003	
	JJ-06	990	0.00015	
	JJ-07	500	0.00008	
	JJ-08	240	0.00004	
	JJ-09	950	0.00014	
	JJ-10	250	0.00004	
	JJ-11	380	0.00006	
	JJ-12	2070	0.00031	
	JJ-13	1290	0.00019	
合 計		8240	0.001	

[想定ひび割れ幅0.2mm~1.0mm]

旗揚げ凡例



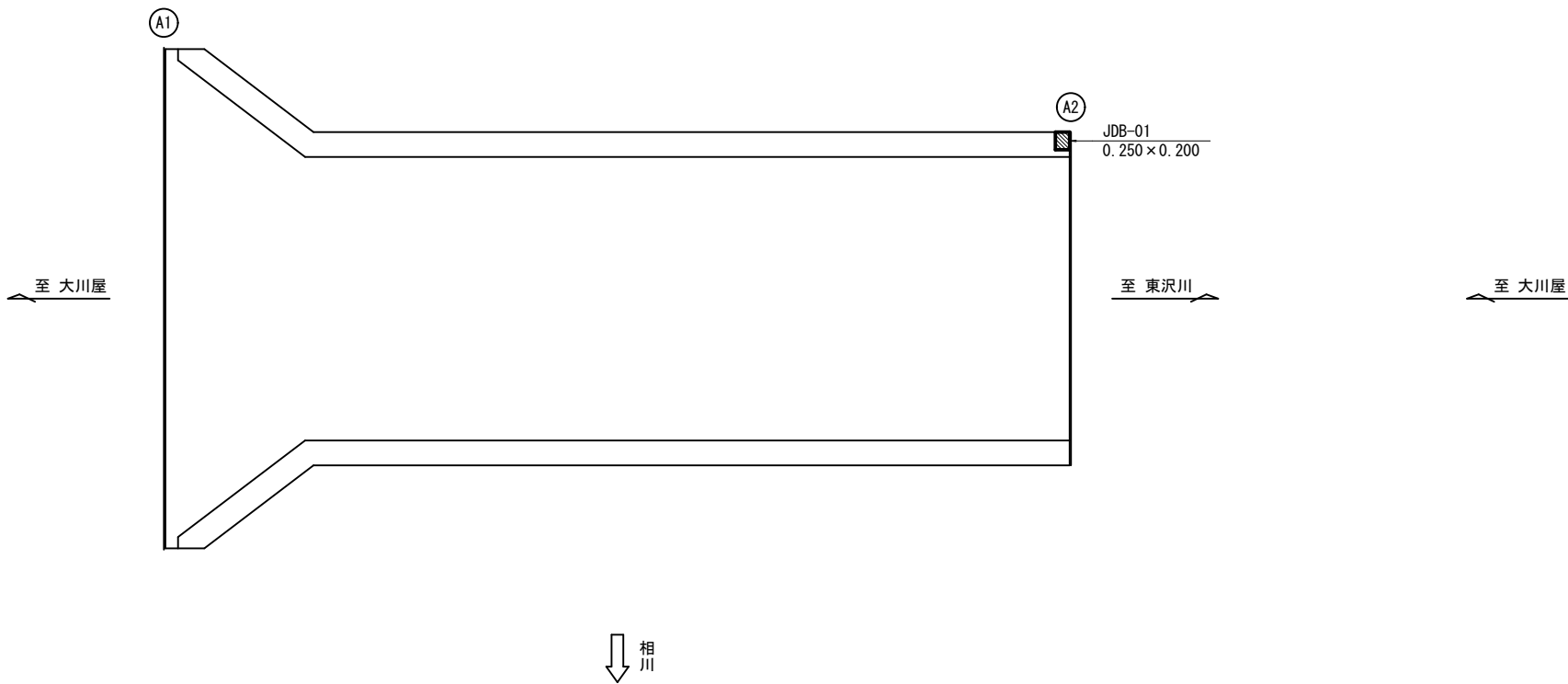
識別記号		
	施工箇所	補修項目
JJ-00	上部工	充てん工法

<注記>  
1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。  
2. 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。  
3. ひび割れ補修工の範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。  
施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。

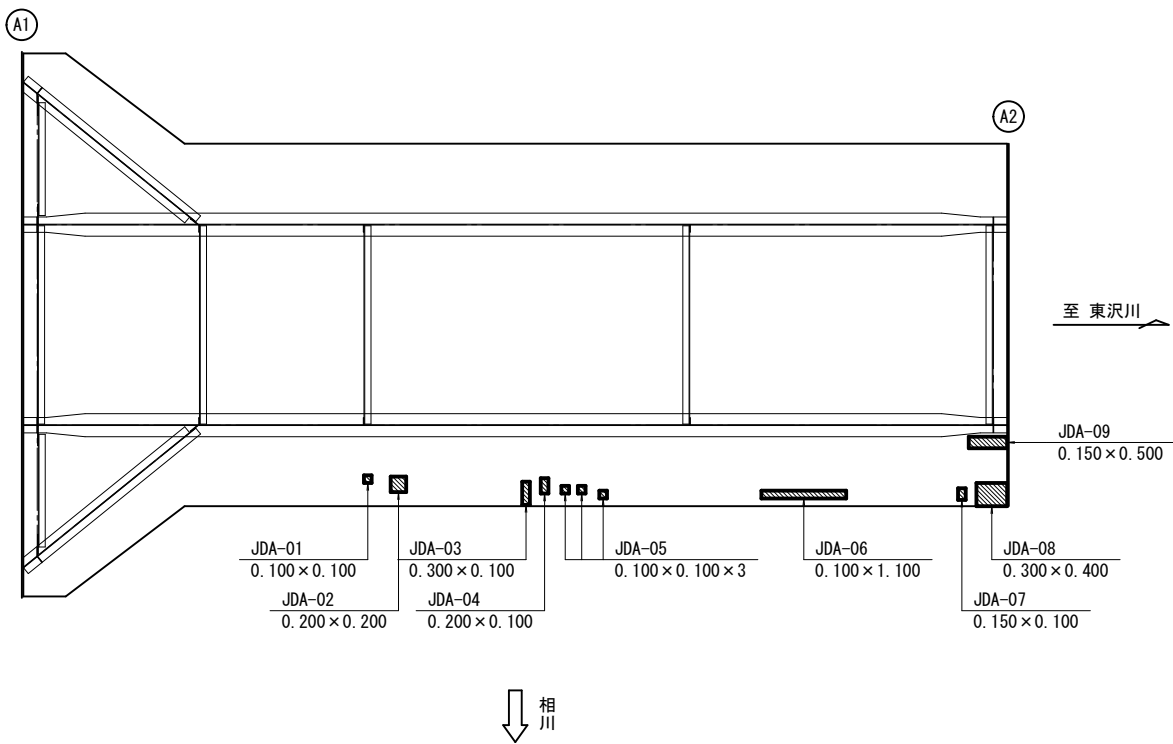
工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ６－４）		
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内		
路 線 名	市道 森中瀬線		
図 面 名	鍛冶屋橋 ひび割れ補修工		
縮 尺	図示	図面番号	7/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

鍛冶屋橋 断面修復工

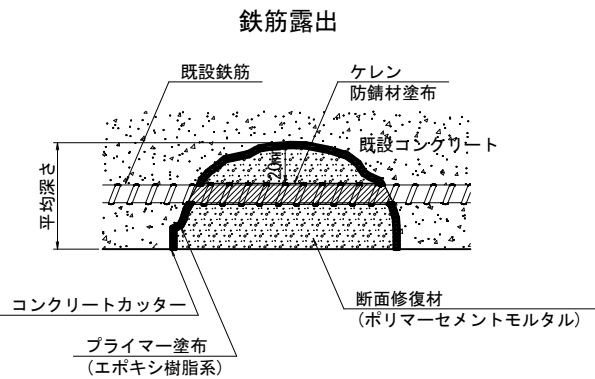
平面図 S=1:50  
(橋面)



平面図 S=1:50  
(桁下)

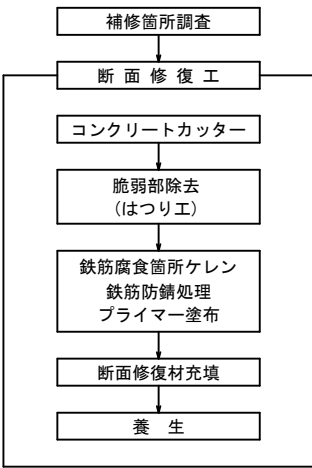


断面修復A詳細図(参考)  
(鉄筋ケレン・防錆処理を含む場合)



- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。

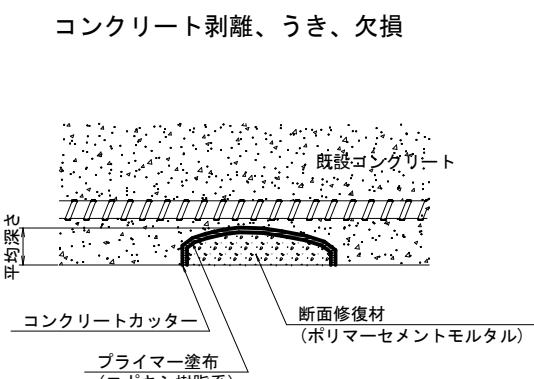
施工手順



断面修復A (鉄筋ケレン・防錆処理含む) 数量表 1橋当り

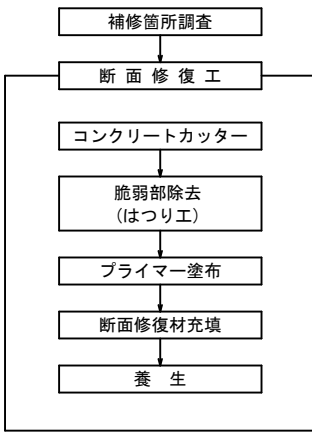
損傷箇所	No.	W×L×平均深さ (m)	V (m3)
上部工	JDA-01	0.100×0.100×0.050	0.0005
	JDA-02	0.200×0.200×0.050	0.0020
	JDA-03	0.300×0.100×0.050	0.0015
	JDA-04	0.200×0.100×0.050	0.0010
	JDA-05	0.100×0.100×0.050×3箇所	0.0015
	JDA-06	0.100×1.100×0.050	0.0055
	JDA-07	0.150×0.100×0.050	0.0008
	JDA-08	0.300×0.400×0.050	0.0060
	JDA-09	0.150×0.500×0.050	0.0038
施工量合計			0.0226

断面修復B詳細図(参考)  
(鉄筋ケレン・防錆処理を含まない場合)



- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。

施工手順

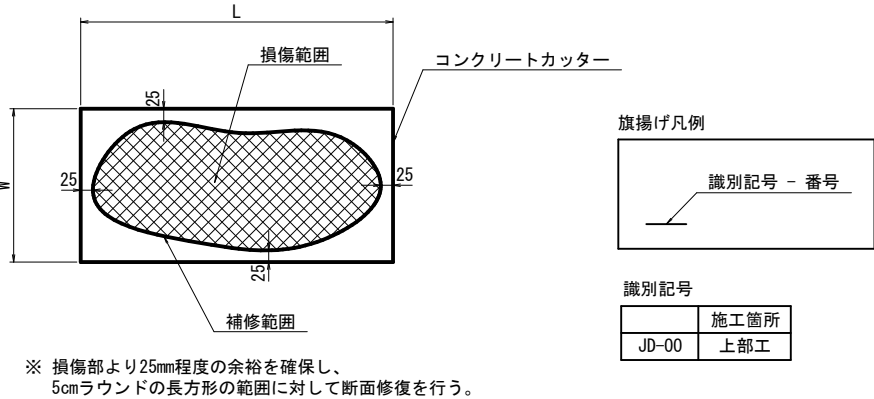


断面修復B (鉄筋ケレン・防錆処理含まない) 数量表 1橋当り

損傷箇所	No.	W×L×平均深さ (m)	V (m3)
上部工	JDB-01	0.250×0.200×0.030	0.0015
施工量合計			0.0015

コンクリートガラ 数量表 1橋当り

損傷箇所	W×L×平均深さ (m)	V (m3)
上部工	施工量合計	0.0241



- ※ 損傷部より25mm程度の余裕を確保し、5cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

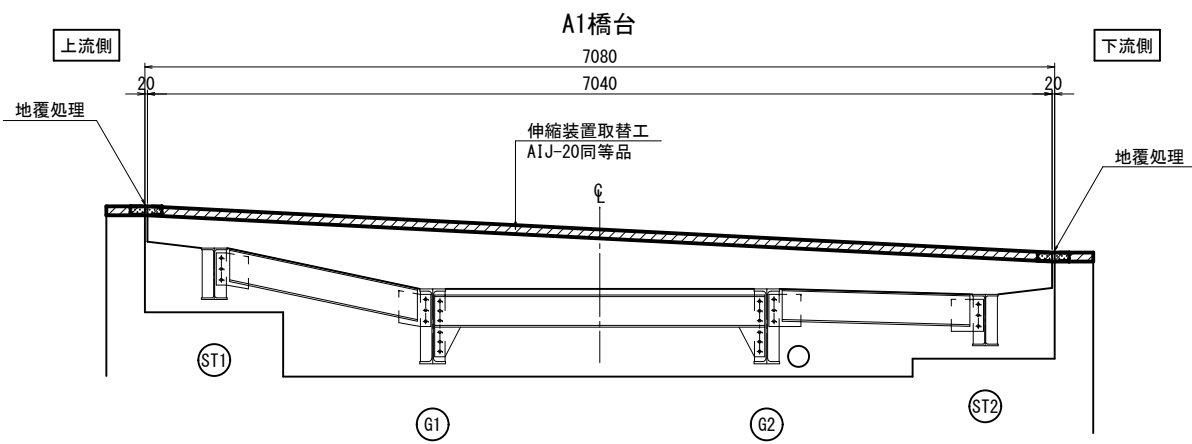
- <注記>
- 施工時は、現地寸法を確認のこと。
  - 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
  - 脆弱部は、はつり落とすこと。
  - カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
  - 断面修復の範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。

工 事 名	橋梁補修工事（R6－4）		
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内		
路 線 名	市道 森中瀬線		
図 面 名	鍛冶屋橋 断面修復工		
縮 尺	図示	図面番号	8/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

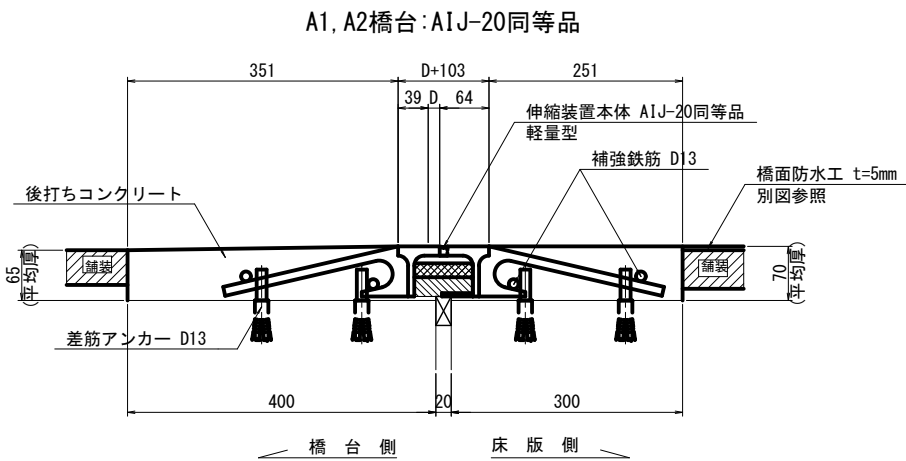


鍛冶屋橋 伸縮装置取替え工

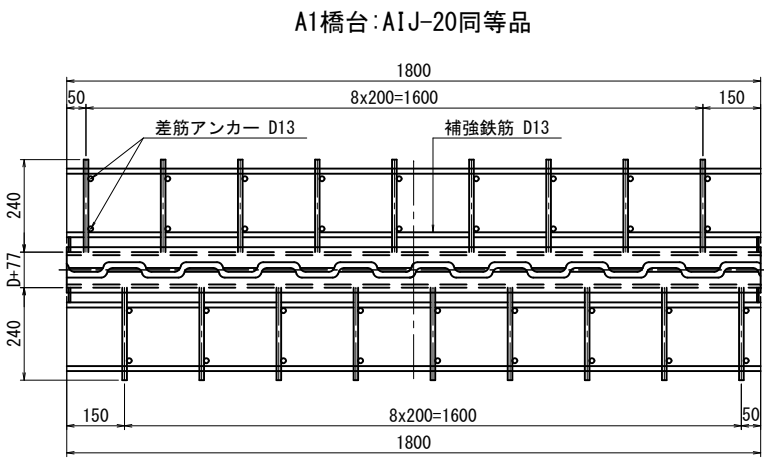
断面図 S=1:30



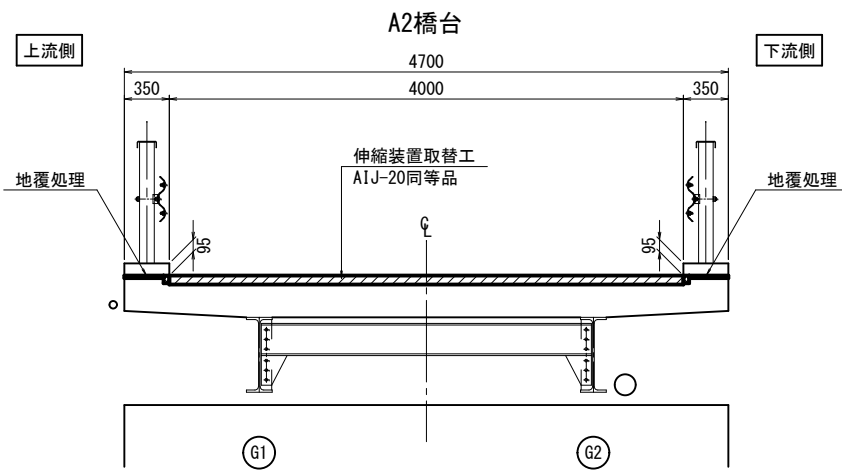
伸縮装置断面図 S=1:5



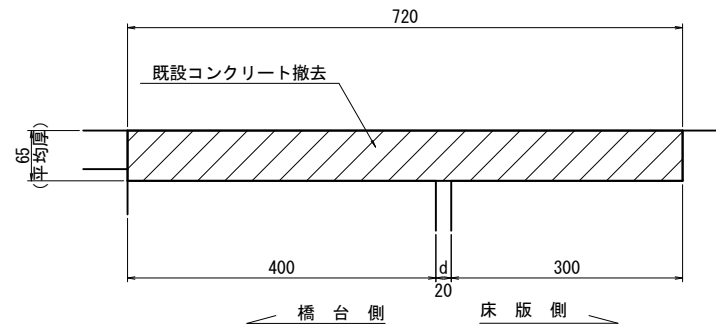
伸縮装置平面図 S=1:10



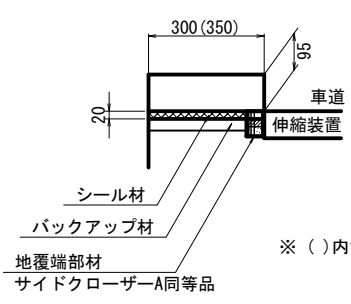
地覆処理詳細図 S=1:10



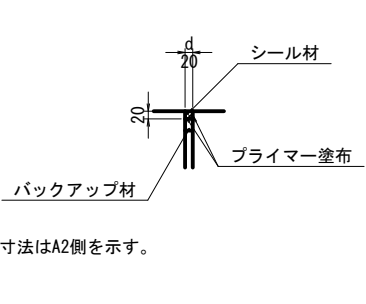
既設撤去図 S=1:5



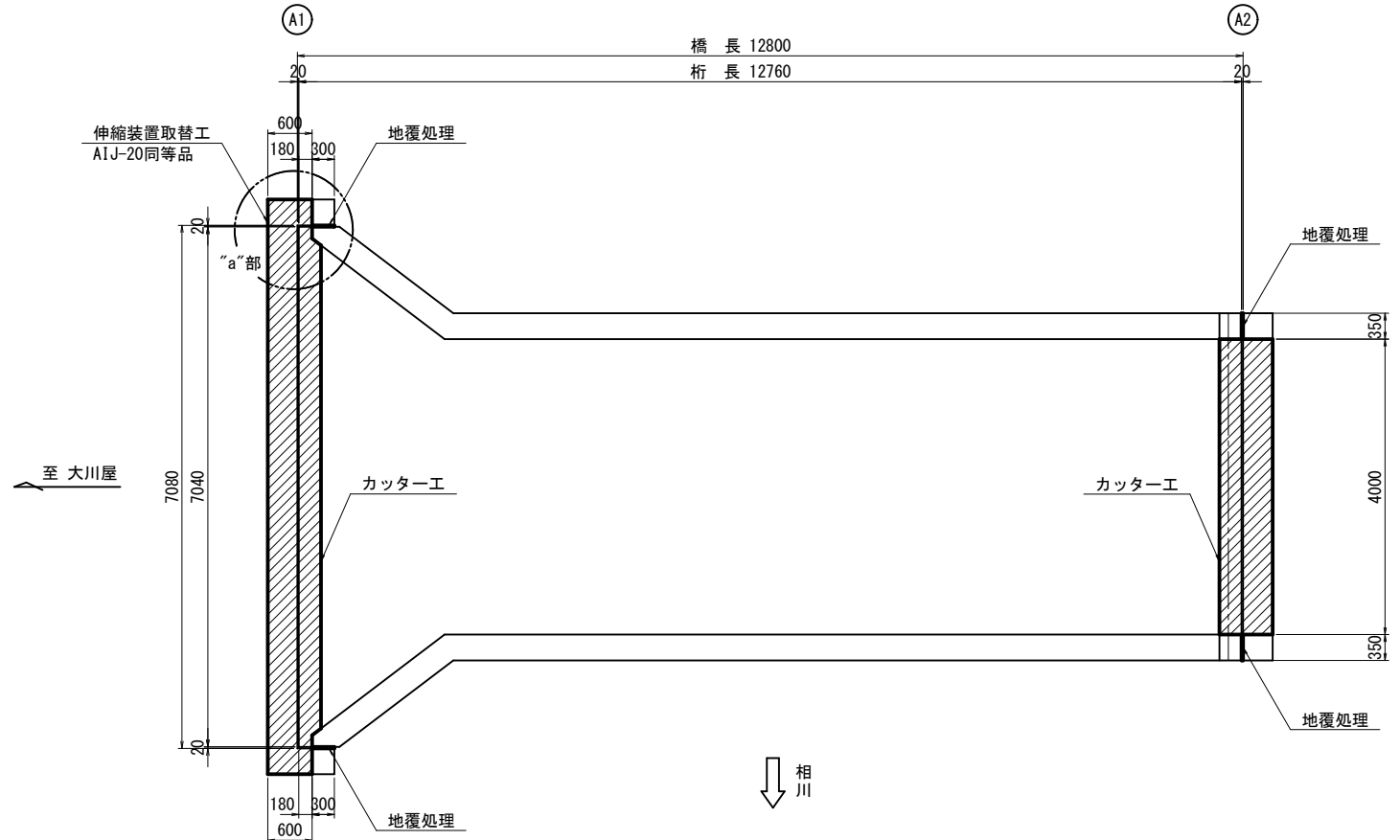
断面図



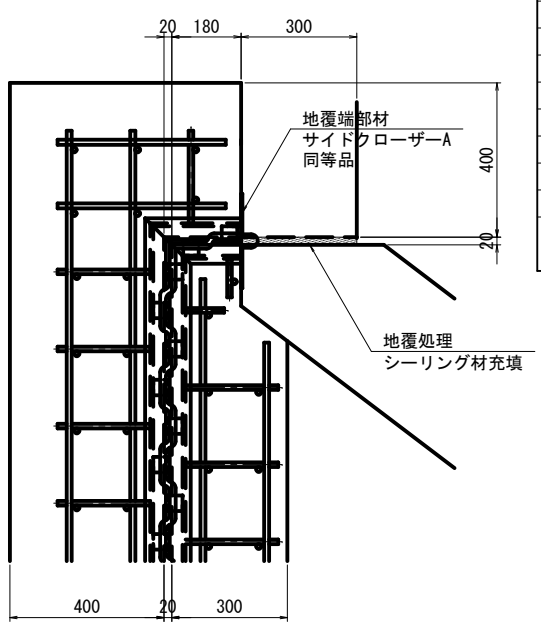
止水処理詳細図



平面図 S=1:50



"a"部詳細図 S=1:10



伸縮装置設置 材料表

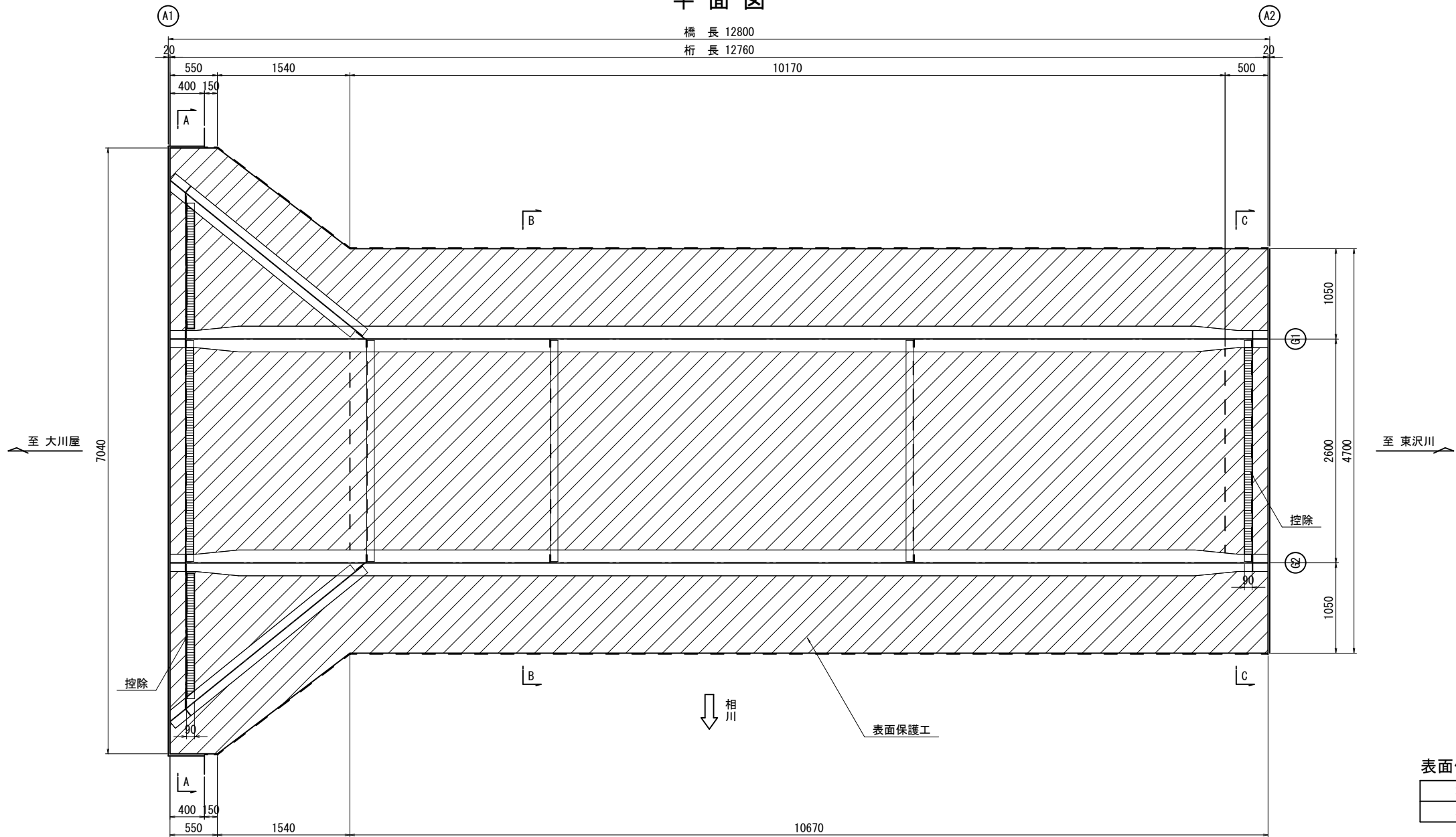
材 料 名	規格・仕様	単位	合 計	備 考
伸縮装置本体	AIJ-20同等品	m	11.400	軽量型
後打ちコンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m <sup>3</sup>	0.470	超速硬コンクリート
鉄筋	SD345 D13	kg	45	0.995 kg/m
差筋アンカー	D13×100	本	228	c. t. c 200 pitch
地覆処理延長		m	1.300	
シリコン用プライマー	シリコン樹脂用	g	10	200g/m <sup>2</sup>
弾性シーリング材	シリコン系 (2液)	L	0.52	JIS A 5758 耐久性区分 10030相当品
サイドクローザー	Aタイプ同等品	個	4	
既設撤去	伸縮装置	m	11.400	
	コンクリート (無筋)	m <sup>3</sup>	0.534	参考重量 1.26t

- ＜注記＞
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
  - 橋台背面の段差については、後打ちコンクリートにて調整を行い、段差を解消すること。

工 事 名	橋梁補修工事（R6－4）		
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内		
路 線 名	市道 森中瀬線		
図 面 名	鍛冶屋橋 伸縮装置取替え工		
縮 尺	図示	図面番号	9/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

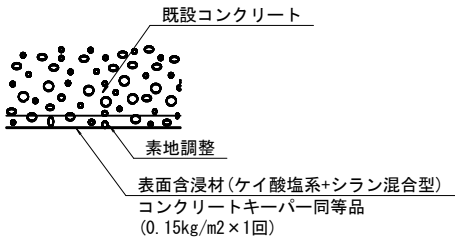
鍛冶屋橋 中性化対策工 S=1:30

平面図

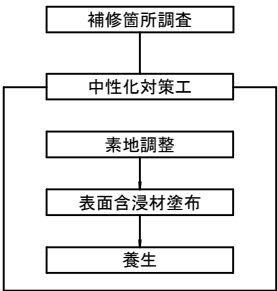


表面保護工詳細図

ケイ酸塩系+シラン混合型



施工手順



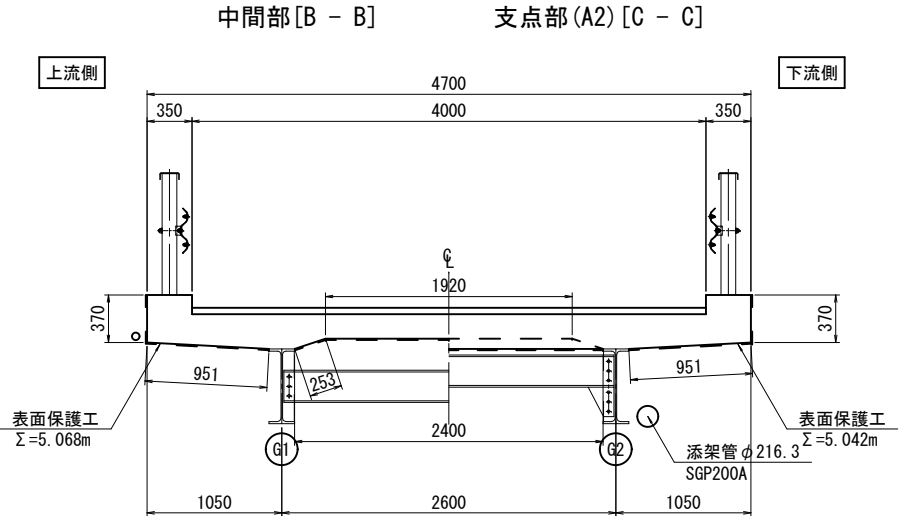
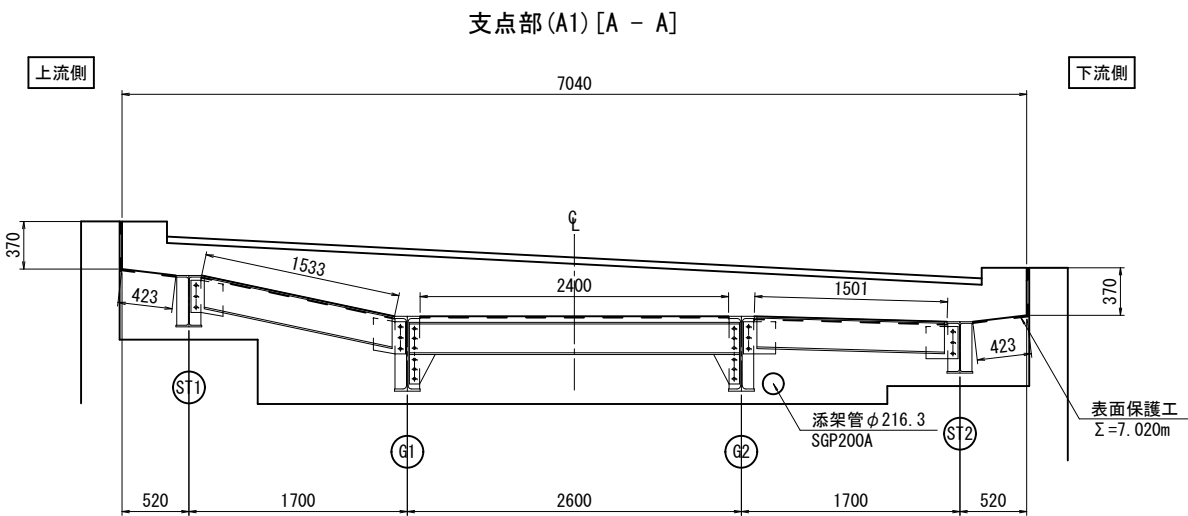
表面保護工 単位数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
素地調整		m2	100	
表面含浸工		m2	100	
表面含浸材	ケイ酸塩系+シラン混合型	kg	15	含浸材 0.15kg/m2 x 1回

表面保護工 数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	摘 要
表面保護工	ケイ酸塩系+シラン混合型	m2	66	

上部工断面図

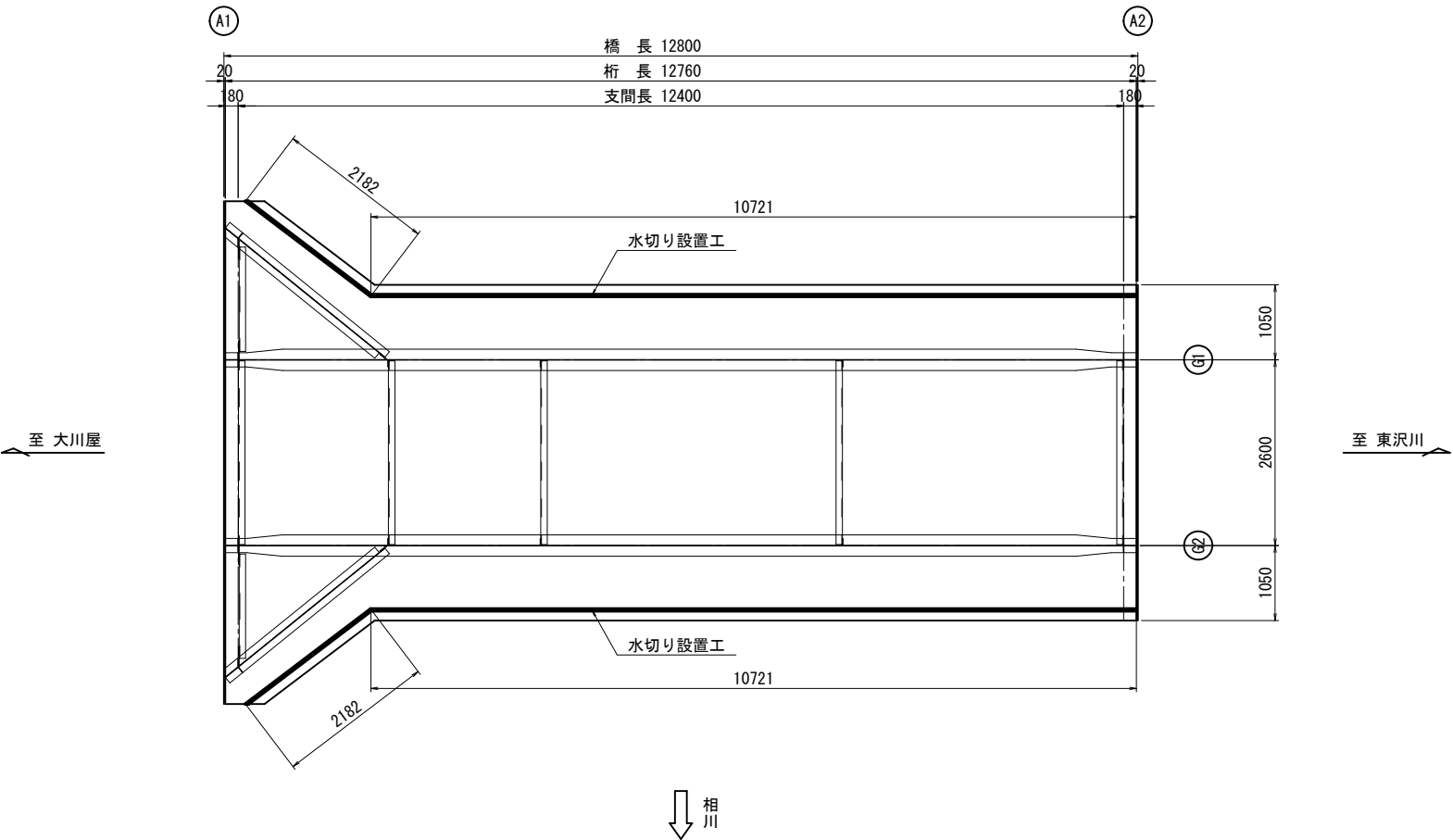


- 〈注記〉
- 現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
  - うき、剥離、鉄筋露出部の断面修復を行った後に、表面保護工を施工すること。

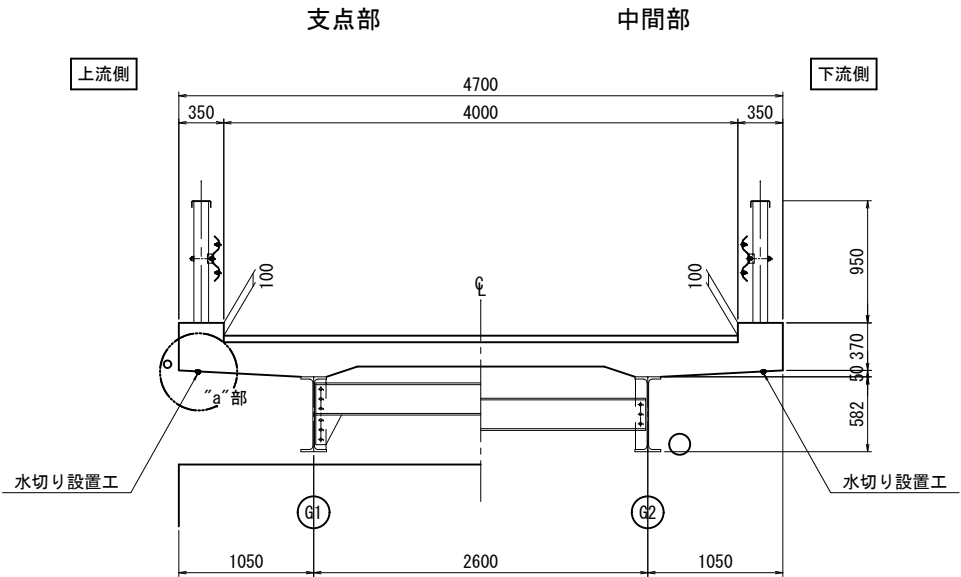
工 事 名	橋梁補修工事（R 6－4）		
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内		
路 線 名	市道 森中瀬線		
図 面 名	鍛冶屋橋 中性化対策工		
縮 尺	図示	図面番号	10/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

鍛冶屋橋 水切り設置工

平面図 S=1:50

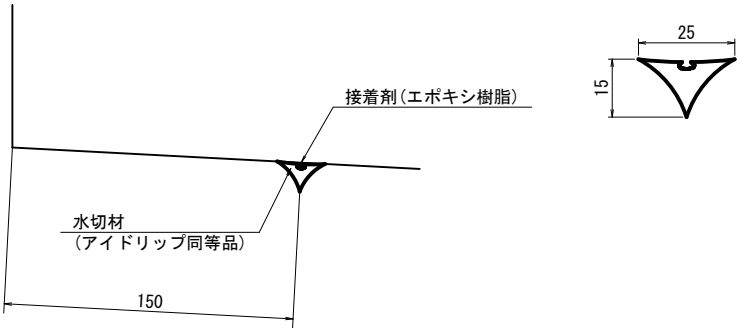


上部工断面図 S=1:30



“a”部詳細図 S=1:2

水切材形状図 S=1:1  
(アイドリッパ同等品)



水切り設置工 数量表 1橋当り

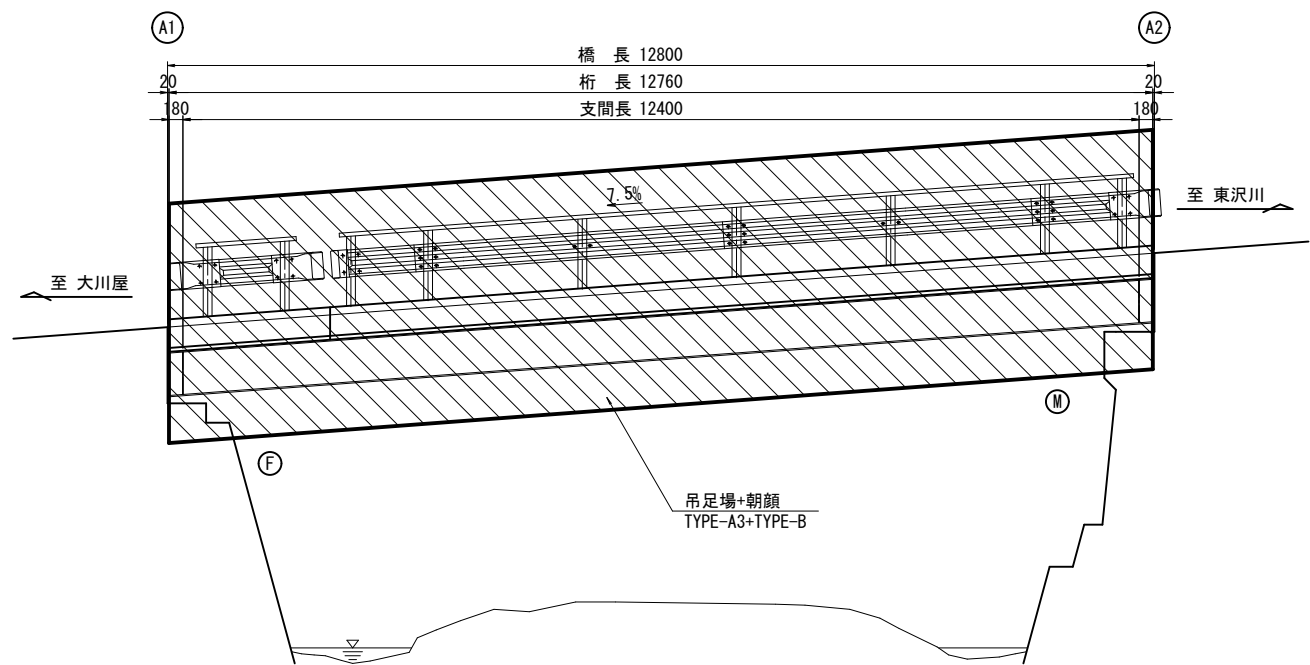
項 目	規 格	単 位	数 量	摘 要
水切材	アイドリッパ同等品	m	25.8	
表面処理		m2	0.6	水洗い

- 〈注記〉
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
  - 水切り設置面は十分に埃等の除去、清掃を行うこと。
  - 本施工は断面修復及び、ひび割れ補修後に行うこと。

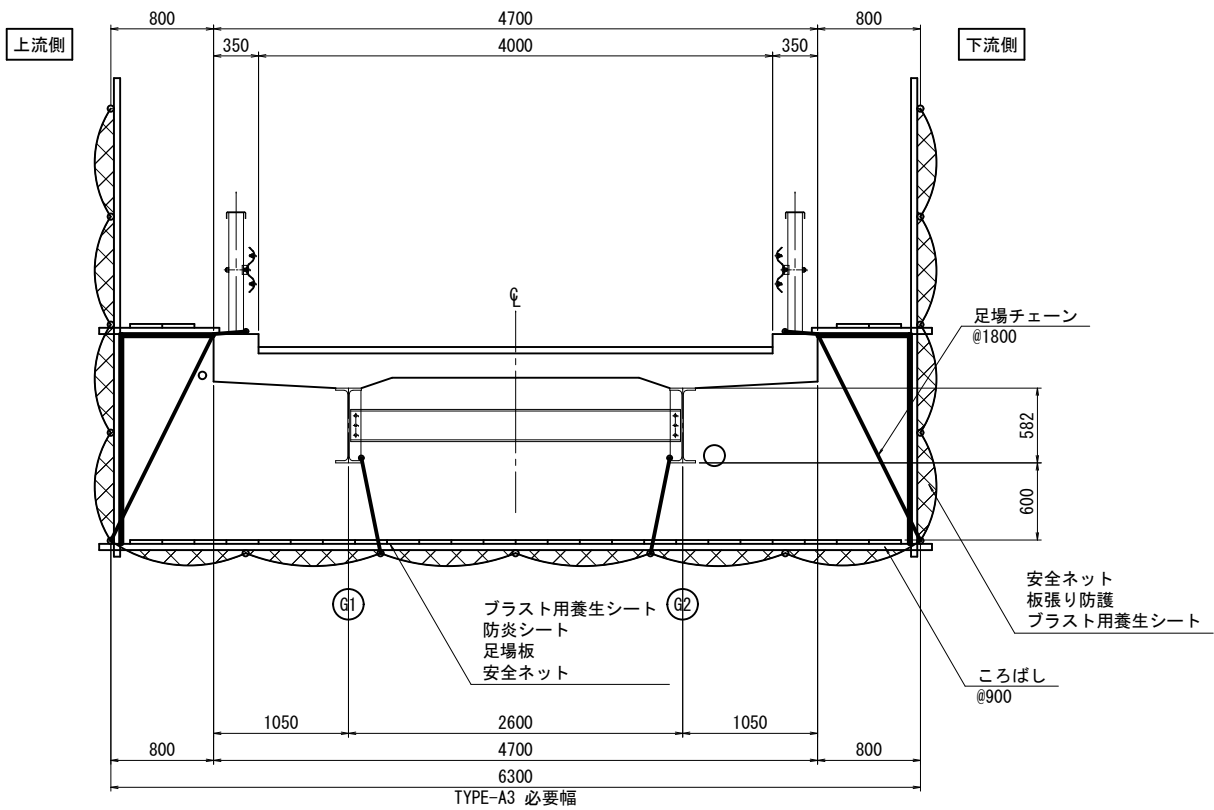
工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ６－４）		
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内		
路 線 名	市道 森中瀬線		
図 面 名	鍛冶屋橋 水切り設置工		
縮 尺	図示	図面番号	11/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

鍛冶屋橋 仮設計画図(参考図)

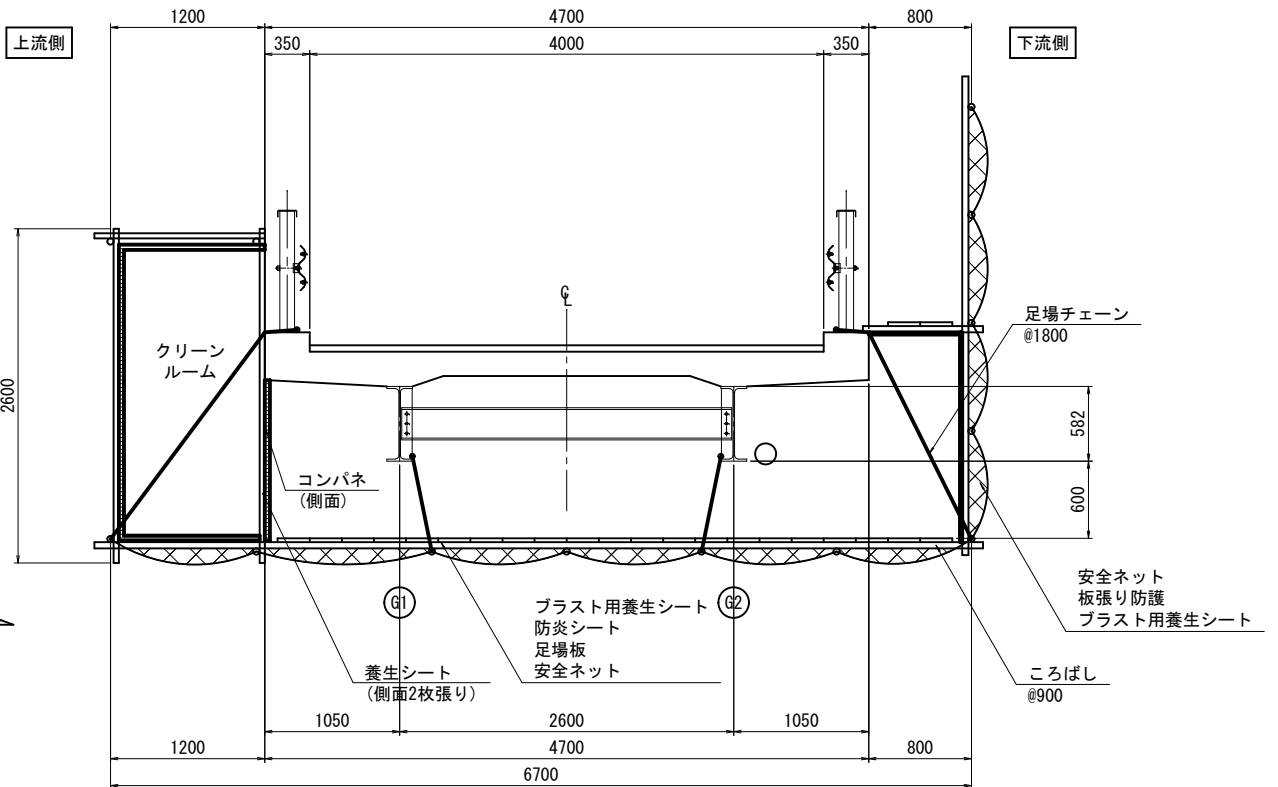
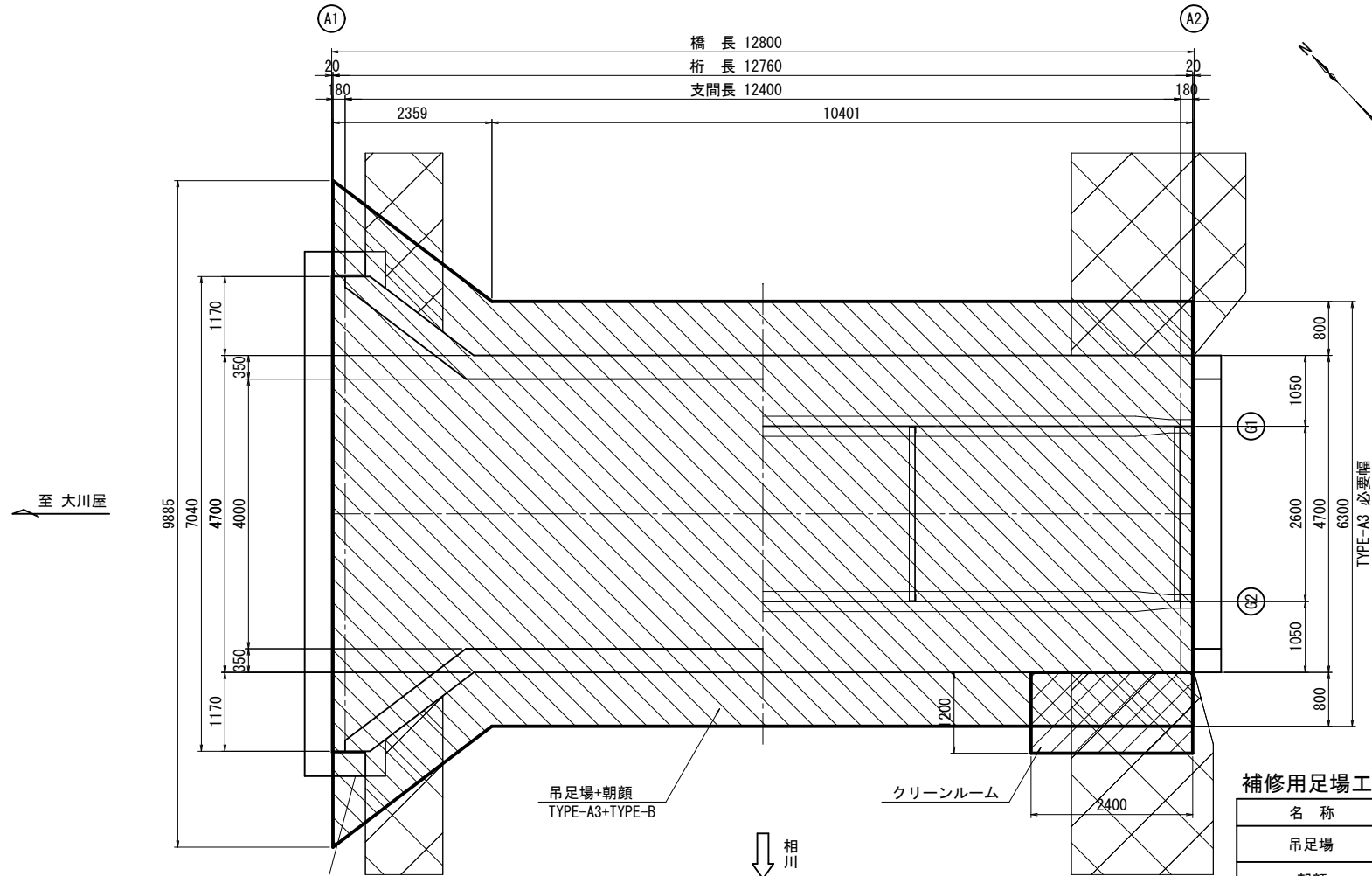
側面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:30



平面図 S=1:50



補修用足場工 数量表

名称	規格	単位	数量	備考
吊足場	TYPE A3	m2	85	防災シート+プラスト用養生シート
朝顔	TYPE B	m2	85	板張り防護工 防災シート+プラスト用養生シート

1橋当り

<注記>

- 足場工の設置は「橋梁架設工事の積算(令和6年度版)」に準拠している。
- 施工に際しては、必要に応じて強度計算を行い、適切な部材配置を行うこと。
- 剥離作業は「労働安全衛生法」「鉛中毒予防規則」「特定化学物質障害予防規則」に基づいて行うこと。
- 剥離作業や塗装塗替時においては、近隣住民と河川への影響に留意すること。(シート張り防護工・集塵機設置による対策等)
- 作業者の人体への影響に留意すること。(呼吸用保護具・保護衣等の使用)

工事名	橋梁補修工事 (R6-4)		
工事場所	甲府市 上積翠寺町 地内		
路線名	市道 森中瀬線		
図面名	鍛冶屋橋 仮設計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	12/12
会社名	大日コンサルタント株式会社		
甲	府	市	